

宮崎大学医学部整形外科

同門会誌

第 15 号
平成 16 年 3 月

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会



平成16年度 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会総会 平成15年11月29日 於：宮崎観光ホテル



平成15年度 宮崎医科大学整形外科学教室新人教室員歓迎会 平成15年5月31日 於；宮崎観光ホテル



会 長

河 野 雅 行

御 挨拶

まず初めに、本年度は本会正会員の田爪陽一朗先生が亡くなりました。若き同門の友を失い誠に残念です。ご冥福をお祈りいたします。

同門会の本年度トピックスは田島教授の御退官でした。数々の御業績を挙げられた上での御退官ですので、さぞかし御満足のことと同慶に耐えられません。永い間お疲れ様でした。お元気で更なる御活躍を祈念いたしますと共に、今後も我々の御指導を宜しくお願いいたします。教授交代は同門会としても一つの大きな節目でもあります。資料不足で正確では有りませんが、開学当初の小人数の医局会や病棟懇親会に端を発し小規模の設立準備段階を経て形が出来上がってから通算しますと、同門会の歴史も20有余年になるのではないかと思います。木村教授、田島教授と続きました教室を核にこの同門会も節目節目毎に発展してまいりました。同門会の現有勢力は本年度新入局会員6名の先生方を加えまして会員総数175名です。事業につきましては役員・会員諸先生方の御協力と事務局の御努力により年間計画に従い、滞りなく施行・運用されております。今年度は前述のように田島教授の御退官行事の他には学会等の特別行事はありませんでした。会員の動向として、本年度御開業は坂本康典先生です。御盛業をお祈りいたします。現在教室は主任教授不在で不安定な状態ですが、帖佐助教授を中心に纏まって診療・研究・教育にと頑張っておられるようです。会員先生方におかれましては教室と同門会の伝統を守る為にも今後共に御協力を重ねてお願いいたします。

本年は昨年にも増して我々整形外科にとりまして苦難の年でした。不況に強いと言われていました医療界にも影響が深刻に現れてきました。経済不況の原因とは無関係な医療費・年金等の目に見えて削り易い所から削って行こうとの安易な方針が明らかです。昨年の医療費削減改悪で、外来診療費や理学療法が低減されたよ





うに全く納得の行かない改定が為されております。本年度からは窓口3割負担が実施され、予測された以上の受診抑制が発生しており、点数の減額と重複しダメージは深刻です。その上、政府は一連の医療費削減が未だ不十分と考えているようで、次期診療報酬改定もマイナス4%の改定案を出しており、(この稿がお手元に届く頃には決着していると思いますが)日医との間に攻防が続いております。今迄の改定は何とか乗り切れてもこれ以上医療費削減がされますと経営を維持することすら困難になって参ります。自分の存続自体が危なくなれば、今まで仲良くやってきた同業者間でも生存競争が始まるという悪循環のシナリオを描くのは困難な事ではありません。世間からは医者は余程ゆとりがあるように見えるのでしょうか。「医療特区」「混合診療」「株式会社」その他、以前から整形外科の抱えている懸案事項として「柔整師」「介護保険に於ける福祉機関との軋轢」「労災・自賠責」「特に整形外科に多い有床診療所」等々解決の難しい諸問題が多々有り、来年度からの「新研修医制度」の実施で地域の医師確保は大きな問題となります。健保財政の強化策として「保険者間の統合」が進み、保険者側の所謂削り屋によるレセプトに対するチェックも細かく・厳しくなることも予想され、延いては医療における医師の裁量権もますます窮屈になる恐れもあります。現在のところはそれらへの対策として有効な手段が見つからず手詰まりの状態です。皆で解決策を考えて行く必要があります。

大学統合の結果、永年親しんだ「宮崎医科大学」の名称も「宮崎大学医学部」と変わりました。教室名称変更に伴いまして、同門会の名称も変わりました。次年度からは大学も独立行政法人化されるようですし、国立大学と言えども今後は経済まで見越した大学運営が必要となり厳しくなりそうです。地域医療の担い手である既成の医療機関との良好な住み分けを計って戴きたいと希望します。

このような厳しい時代であれば有る程、健康が第一です。寒さも次第に本格的になり、インフルエンザ、SARSの脅威も言われております。会員先生方の御自愛を祈念いたします。



巻 頭 言



田 島 直 也

今年も早くも11月末となり同門会誌発行の時期となった。私は本年(平成15年)3月退官し、巻頭言を書くのは前号が最後とっていたが後任教授不在のため今回も又お引き受けすることになった。

今年は教室にとり大変な年であった。教授不在が半年以上に及び帖佐助教授、渡邊医局長を中心に教室はしっかり運営されているものの御苦勞は大変なものであったと思われる。又大学としても宮崎医科大学は約30年間の幕をとじこの10月、宮崎大学と統合し、新しい宮崎大学医学部として発足した。統合前の両大学の話し合い、統合後の新組織としての発足も大学としても初めての経験であるし又来年4月から独立学校法人として衣替えする事になっている。まさに教室にとり内外とも激動の年であったといえる。出来るだけ早期に新しい教授の下に教室運営がされることを念願している。しかしこういう時期に6人も新入局員があったことは喜ばしいことで教室の活性化につながるものであった。

私事であるがこの4月末アキレス腱断裂をおこした。帖佐助教授、渡邊医局長に手術をしてもらい宮崎医大、野崎東病院に入院し多くの同門会の先生にお見舞いを頂いた。この場をかり改めてお礼を申し上げるが健康の時は分からなかったが自由に歩けない事は如何に不自由であるか身をもって体験する事が出来た。

整形外科では今、「運動器の10年」の世界的キャンペーンを行っている。高齢化社会になり歩けなく、寝たきりになればヒトとしての行動全てに影響する。直接生命に関係ないとしても運動器はヒトが制御出来る重要な器官であることを再認識した次第である。

現在、整形外科をとりまく環境は大変厳しく、境界領域は他科との競合状態になっている。又、鍼灸、柔道整復師の増加もめざましく年々整形外科医の活躍する場が減ってくるのではないかと心配される。将来とも土台がしっかりした整形外科として活躍できるように特に医員、研修医は貪欲に基礎知識の獲得、臨床経験を重ねevidenceに立脚した診療に当り患者さんのイタミを共感できる医師になってもらいたいものである。

目 次

御 挨拶	会 長 河 野 雅 行
巻 頭 言	田 島 直 也
同 門 会 報 告	
平成16年度 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会総会議事報告	岡 田 光 司 1
医 局 長 挨 拶	
ごあいさつ	渡 邊 信 二 2
随 筆	
骨医者の呟き	木 村 千 仞 3
第5回 World Rugby Cup (Townsville in Australia) に日本サポーターとして	菊 田 勇 4
新 規 開 業	
開業のご挨拶	坂 本 康 典 7
平 成 15 年 度 野 球 大 会 報 告	
日整会野球大会報告	福 元 洋 一 8
西日本野球大会を終えて(一軍)	関 本 朝 久 10
西日本野球大会報告(二軍)	後 藤 英 一 14
ゴルフ大会～優勝記	安 藤 徹 16
第6回同門会テニス大会報告	松 本 英 裕 18
関 連 病 院 紹 介	
宮崎善仁会病院	黒 田 宏 19
串間市国民健康保険病院	川 添 浩 史 20
夫 を 語 る	松 本 美 保 21
専 門 医 試 験	
専門医試験を終えて	石 田 康 行 22
専門医試験を終えて	川 野 彰 裕 23
変わっていない試験対策	河 原 勝 博 24
整形外科専門医試験合格への道	栗 原 典 近 25
専門医試験に合格して	前 田 和 徳 26
専門医に合格して	森 治 樹 27

厚生部報告

送別会&医局旅行	山本 惠太郎	28
新入会員自己紹介	小島 岳史	31
	崎濱 智美	31
	福島 克彦	32
	三橋 龍馬	32
	吉川 大輔	33
	吉川 教恵	33
教室同門の研究業績		34
編集後記		52

***** 同門会報告 *****

平成 16 年度 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会総会議事報告

総会：H15 11/29
場所：宮崎観光ホテル

1. 平成 15 年度 (H14 10/1 ~ H15 9/30) 報告

(1) 会員状況 (平成 15 年 9 月 30 日現在)

正会員：139 名、賛助会員：36 名

(2) 会員動向

教授退官：田島 直也 先生 (平成 15 年 3 月 31 日付)

入 会：小島 岳史 先生 (平成 15 年 5 月 16 日付)

崎濱 智美 先生 (平成 15 年 5 月 16 日付)

福島 克彦 先生 (平成 15 年 5 月 16 日付)

三橋 龍馬 先生 (平成 15 年 5 月 16 日付)

吉川 大輔 先生 (平成 15 年 5 月 16 日付)

吉川 教恵 先生 (平成 15 年 5 月 16 日付)

退 会：田爪陽一朗 先生 (平成 15 年 9 月 28 日ご逝去)

教室人事：同門会便り第 21 号 (平成 16 年 1 ~ 2 月発行) に掲載

結 婚：野崎正太郎 先生 (平成 15 年 6 月)

開 業：坂本 康典 先生 (平成 15 年 7 月)

(3) 事業報告

平成 14 年 11 月 30 日 (土)：平成 15 年度総会、講演会、忘年懇親会

12 月 2 日 (月)：同門会会則名簿発行

平成 15 年 2 月 28 日 (金)：同門会便り (第 19 号) 発行

3 月 22 日 (土)：教授退官記念会

4 月 ；同門会誌 (第 14 号) 発行

5 月 31 日 (土)：新入教室員歓迎会

8 月 18 日 (月)：同門会便り (第 20 号) 発行

11 月 29 日 (土)：平成 16 年度 総会、講演会、忘年懇親会

2. 会計報告

平成 15 年度決算は監査報告があり承認された。

3. 平成 16 年度事業計画・予算案

次回総会開催期日は学会開催などがあり今後検討する。同門会便り (第 21 号) 発行は平成 16 年 1 ~ 2 月予定、同門会誌 (第 15 号) 発行は平成 16 年 3 月予定とする。また若手研究者賞 (仮称) などの学術支援事業の創設を今後検討する等々の諸事項および予算案が承認された。

4. 役員改選

平成 16・17 年度の役員選出が選挙管理委員 (坂本、黒沢両先生) の立ち会いのもと、会則 6 条に則り行われ承認された。選出役員は平成 16 年 1 月発行の会員名簿に記載される。

5. その他

本会の名称について「宮崎大学医学部整形外科学教室同門会」への変更が了承された。

以上



ごあいさつ

渡 邊 信 二

みなさま明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

平成16年という年はわれわれ宮崎大学医学部整形外科学教室にとって節目の年になると思います。キーワードは三つ①新教授就任②独立法人化③スーパーローテーションです。

ご存知のように平成15年3月で田島直也教授がご退官されました。その後、この原稿を書いている時までは新しい主任教授が決まっておりません。（恐らくこの同門会誌が発行になった時には決まっていると思いますが……）どなたが教授になられても直面する現状は厳しいものと思われまます。というのは大学の独立法人化と臨床研修システムの導入であります。

独立法人化は平成16年4月からで、もう目の前に迫っております。大学病院は従来の親方日の丸ではなく、文字通り独立採算制で収益を上げる努力が必要となってきます。当然のことながら収益を多く上げる科が優遇され予算や時間的空間的な有利さを得ることになるでしょう。逆に利益のあがらない科は予算も減らされるでしょうし、教官の数や最悪の場合病床数まで減らされるかもしれません。外来も紹介率を上げ、入院でも在院期間短縮を強く要求されるでしょう。また、官民連携も重要な課題であり、うまく商業ベースに乗れた科は生き残れるのかもしれません。

さらに、平成16年の研修医採用分から施行される新臨床研修システムにより2年間は入局がありません。これはどの科も同じだとは思いますが、実際研修医の配属されるメジャーと言

われる科とは雲泥の差があるでしょう。どうして臨床実習では外科と同様メジャーとしての働きを要求されるのに、卒後研修ではメジャーとして認知されないのか納得のいかないところで。科長が不在であることもやはり原因であろうと思います。この点については新しい教授に十分お考えいただき対処いただきたいと思えます。

さて、実際研修医が入局しないということは、主に患者さんの面倒を見てくれる人材がいないということです。大学病院での診療を充実させるためには、いまの研修医の先生に残って頂くか、または関連病院に出向している若い先生に一度帰ってきて頂くかという選択になります。われわれの考えとしては3年目には関連病院に出向し外傷や骨折などといった一般整形外科の研修をさせる必要があると思えますので、やはり関連病院の先生を大学に戻すということになるでしょう。しかしながら代わりの人材を出せないかもしれないのです。いままでは、研修医待遇の病院にも3年目以上の先生を出向させていましたが、今後は厳しくなることは必至です。この点についてはご迷惑をお掛けしますがご理解の程をお願いします。

色々と暗い話をしてきましたが、体制が変わるときの一時的なものとして信じてます。数年過ぎればよい思い出になるでしょう。私も今年で医局長3年目です。とりあえず最長記録を更新したので一つの目標はクリアです。あんまり医局長らしいことしてませんが今年もよろしく願います。



「骨医者の呟き」

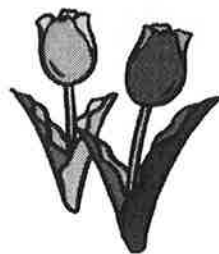
木村 千 仞

1年程前の全国紙コラム欄に東大OB医師の話があったが、それは近年若い医師の「外科離れ」についての嘆きである。内容は東大医卒（80人）の研修先は外科系8診療科に全部で5名、これに対し皮膚科、耳鼻咽喉科は各4名、眼科6名で外科系全体を上回る人気で、かつての外科系20～30名、マイナー1～2名入局だった以前と大違いで若い医師はなぜ外科系や救急医療をさけたがるのか、といったコメントも出ていた。

私は学生時代から春・夏休みには外科医の知人宅に出入りし、手術場での見学や雑用をしていたので、卒後外科系に進むことに抵抗はなかった。昭和30年に新制大学院（4年制）が発足するにあたって整形外科第1号として玉井教授のもとで門下生となった。新米医師にとっては、見ることに、聞くことに、やることにすべてが浜辺の砂が海水を吸い込むと同じ吸収力で充実した日々を過ごした。特に玉井教授とは入局時から30数年間同じ職場で仕事をし数えきれぬ多くの薫陶をうけ得た幸いに感謝を申し上げたい。

そのうち、メスを持つ医師の心得の1, 2をあげると、「1000例の手術で1例の失敗は医師としては0.1%のミスであっても、当の患者にとっては100%の失敗である」「手術が出来ることと患者を癒すことは必ずしも同じではない」「患者を我が親か我が子と思って手術の適応を決める」など含蓄ある教訓を列挙すれば枚挙にいとまがない。明治の頃から外科医の心構えとして「鬼手佛心」なる語が至る処でみられたが、出典は良く知らないながらも言い得て妙と感心している。2.3の文献では16世紀頃Holland, WanderoのEpick-Woter-lexikonに“Ein Doctor muss ein Falkenaue, eine Jungfernhand und Lowenherz haben”との記載があり「獅胆、鷹目、行以女手」と和訳されているようで「鬼手佛心」と同意であり、医の根幹である仁や愛と同一である。

近年では内視鏡・MRI・ロボット起用など便利な道具が出現して行末の見境が判らなくなってきたが、医療の根源が変わることはなかろうと考え、患者を診ている昨今である。





第5回 World Rugby Cup (Townsville in Australia) に日本サポーターとして

菊田 勇

現在、10月10日から11月22日まで開催中です。日本は、スコットランド、フランス、アメリカ、フィジーと予選試合を行ないましたが、僅差で全敗しました。決勝進出権利はなくなりました。

10月12日の対スコットランド戦を観戦しましたが、さすが、国際試合で試合そのものより、Rugbyを愛している世界各地の人々との出会い・会話・応援合戦、そして開催国の雰囲気・経済状態・観光を知るいい機会であると、学生時代から熊大医学部全盛期のキャップを務めた、3人で行って来ました。

留学中、代診をお願いしましてほんとうにありがとうございました

第4回大会も1999年、英国Walesまで同じ

メンバーで出かけ、この時ロンドンに着いた時「異国にきたなあ」ととても感激したことを憶えています。この時のことも、私のホームページに記載していますので、興味があればご覧ください。URL: <http://square.umin.ac.jp/isamu-k/>です。

応援では、スコットランド伝統の正装姿とあの独特の「びーひよろろ、びーひよろろ」という音楽隊がグラウンド周囲を回っていました。日本は「阿波踊り」でも持ち込まないと応援も負けたと感じました。

第5回大会は、オーストラリア各地で行なわれています。日本チームは、東北部のTownsvilleで3試合、Brisbaneで1試合したと思います。



写真1. Scotland戦

「君が代」斉唱時。こちらも感激して大きな声で斉唱しました。市街地からバスで40分程度のところにあるDaily Farmer Stadium。ビール（ハイネッケンが主）、ハンバーグ、ホットドッグ、旨くない「すし」もありました。さすがに、ビールのため、トイレは混雑。Cardiffでは、手を洗う洗面トイレにもちんちんを長く出してやっていたのですが、今回はそれは見られませんでした。

選手のプレー事態はラグビーマガジンに記載されているでしょう。私は諸外国から応援・観戦にこられている人々とお話しました。



写真2. 試合前

スコットランド正装（スカートと股間に付けた金属）のサポーターとの会話。

Kikuta : Hi!. Good evening. Tonight, you are our enemies.

Scottish : Oh. No!. We are friends.

Kikuta : Let fight fair and squarely.

Scottish : Thank you.



写真3. かつらをかぶった大男が数人ビール片手に大声を上げて歩き回っている。

Kikuta : Hi!. You're fine?

Furigan : Oh, fine. Very happy, fine.

Kikuta : Would you like to take your picture with me?

Furigan : Yes, no problems.

Kikuta : Let fight each other tonight.

Furigan : Thank you.

フリーガンでも怖いというイメージはない。

*furiganというつづりはないのかも知れない。



写真4. Townsvilleの日本サポーターが4-5人近づいてきた。

The townsmen :

How do you do? We are Japanese supporters. What do you say "victory" in Japanese?

Kikuta : Oh! Thank you!. We say usually "Ganbale" word to the player.

The townsmen :

"Ganbale, Ganbale Japanese one".

Kikuta : That's good. I'll buy beer for you.

The townsmen :

Thanks, I'll buy beer for you too.

で、Cherry Blossomsジャージーを着ているおにいちゃんと意気投合。

かくして、日本代表チームは4敗し、決勝リーグにあがることはできなかった。

宮崎大学医学部は、スポーツ研究では日本でも有名であり、今後ともスポーツ研究を行い、ラグビーを世界に通じるチームとなるよう力をかしてください。

次回はフランスです。健康であればまた行こうと思っています。

せっかく行ったのですから、オーストラリアの歴史も学んでみましたが、まだ新しい国ですので、その資料はものすごく少ないです。最近のデータを調べてみましたのでご覧ください。



2003. 8 現在

国名：Commonwealth of Australia(オーストラリア連邦)
面積：日本の20倍、アラスカを除く米国とほぼ同じ
人口：1,900万人(2001年度)
首都：キャンベラ 人口 31万人
在留邦人数：46,893人(2002年度)
住民：イギリス系(77%)、イタリア、オランダ、ギリシャ、ドイツなどのヨーロッパ系(19%)、アジア系(2%)、アボリジニ(1.5%)
宗教：カトリック(26%)、イングランド教会(24%)
軍事費：国家予算の6.7%(2002年度)
失業率：6.7%(2002年度)*1995年より少し改善している。
日本からの輸出：50%が自動車とその部品
日本への輸入：石炭(26%)、原油(4%)、鉄鉱石(11%)、牛肉(5%)
コンピューター(2.2%)
主用言語：英語(スコットランド、アイルランド語だから、イングランド語の発音では理解できないこともある。)

大航海時代からの歴史、現代そして地理的に
Great Barrier Leaf (珊瑚礁)などもHPに記

載していますので興味のある方はどうぞ。誤字
が多いです。



開業のご挨拶

坂本 康典

この度平成15年7月1日、清武町に坂本整形外科を開院致しました。

もともと清武町出身であり、父が内科の開業医であることから開業するのであれば清武町でと思い、周りの方々のご支援をいただきながらの開業となりました。

平成元年宮崎医科大学整形外科教室に入局させていただき、諸先輩方に御指導いただいた事は、今の私にとってまことに感謝すべき事で、これからの診療の糧となるものだと思っております。

振り返りますと、まさか自分が開業するとは夢にも思っておりませんでした。といいますが、勤務医であれば整形外科の仕事さえ行っていればよかったのですが開業となると様々な金銭問題まで抱えなければならぬと思ひ、ずっと勤務医でと思っておりました。

きっかけとなったのは長男の小学校入学で、清武町に住居を構えようと土地を探していたの

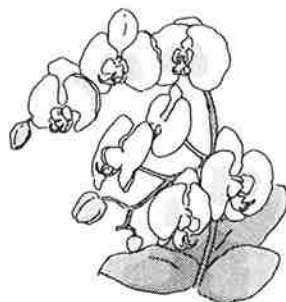
ですが、家族の勧めでいっそ開業したらという事になり、悩んだあげくに開業しようと決めた次第です。

いざ開業となると想像以上のことが待ちました。建物の中身や外観などと今までに経験したことのない事を決めねばならず、また手続き等も言われるがままに済ませたようなものでした。開院の日までバタバタとあわただしく時間が過ぎ去って行きました。

現在開院から半年が経過しようとしていますが、今でもこれでよかったのかなあと自問自答することがあります。

とりあえずは一国一城の主となったわけですから尸位素餐とならぬよう約15年の勤務医生活で得られた知識と経験をもちまして、これからも奮闘していく所存であります。

どうか皆さまの御指導ならびに御鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



平成15年度野球大会報告



日整会野球大会報告

福元 洋一

平成15年の日整会野球大会は5月22日から金沢で行われました。3月に田島教授がご退官され、今回は松元新監督の下大会に臨むこととなりましたが、田島先生も2月からの練習にもほとんど参加され積極的にチームを引っ張って下さいました。しかし、大会があと3週間程とせまったある日の練習中にショッキングな出来事が……。センターを守っていた田島先生がボールを追って走っていたその時、突然痛そうにケンケンを始めベンチにもどった。肉離れかと思いながらベンチにもどって田島先生の姿を見た途端みな凍りついてしまった。なんと目の前に陥凹したアキレス腱が……。動揺を隠せないみんなに田島先生は落ち着き払って練習を続けるように言われました。その間保存的か手術か悩まれていた先生が練習が終わったときに“よし今日手術しよう”と言われてその日のうちに帖佐先生による緊急手術が行われました。みんなの心配をよそに術後数日で東京に行かれるなど驚異的な回復を見せました。この田島先生のケガが起爆剤となり田島先生の悲願であった全国初制覇に向け一致団結してその後も練習に励んで全国大会に臨みました。今回は石田先生と有住先生が仕事のため参加できず大幅な戦力ダウンとなったが、野球のために入局してきたドラフト1位新人の三橋先生が加わり充実した戦力となった。大会前日のレセプションのかくし芸では三橋先生が孤軍奮闘でやや盛り上げてくれて（昨年の福嶋先生より断然おもしろか

った?）、抽選の結果1回戦の対戦相手は順天堂大学となりました。翌日1回戦当日、朝6時からの試合にもかかわらず平川先生と杖をつき足を引きずりながら田島先生が応援に駆けつけてくださりみんな俄然気合が入った。松岡先生の先発で順調な滑り出しで無得点に抑え、攻撃陣は2回から猛打爆発し黒木浩史先生の3塁打など長打連発して4回までに7点を奪い、最後は抑えの切り札の矢野先生が締めくくり7対4と圧勝した。しかし、日整会会場の試合結果報告では長打を打った全員の名前が書かれているなか3塁打を打ったはずの浩史先生の名前だけはなかった……。2回戦は香川医大と対戦した。初回1点を奪われ嫌なムードの中1回の裏に2点を奪い逆転した。2対1のまま緊迫した状況の中で池尻先生がセンターオーバーを放ちランニングホームランかと思いきや3塁を回ったところで見事ずっけて余裕のタッチアウト。相手のやる気も失わせるこのパフォーマンスと相手4番バッターの負傷退場の幸運もあり3対1と勝利し準決勝進出を決めた。準決勝は、札幌の日整会の決勝で敗れている金沢大学と対戦した。試合前の相手のシートノックを見て圧倒されるも帖佐先生の空振りを交えたシートノックですっかりリラックスすることができた。対金沢大学用に温存していた矢野先生が満を持して先発。初回を0点に抑え順調に滑り出すも2回に味方エラーもあり1点を先制された。しかし、3回裏に矢野先生の送りバント、

三橋先生のスクイズと小技を絡めた見事な攻撃で同点に追いついた。4回に再び1点をリードされると5回裏には矢野先生の見事な送りバントがまたもや決まり、矢野先生の足を警戒？した相手ピッチャーが1塁に暴投して再度同点となった。その後は息詰る投手戦で同点のまま判定戦となり、ここで疲れの見える矢野先生が相手4番に痛打を浴び2点を奪われ、その裏1点を返すも追いつけず4対3と惜敗し、悲願の初

優勝はならなかった。しかし、来年こそは十分に優勝をねらえると手ごたえをつかめたと思います。長い間キャプテンを務めさせていただき満足な成績を収めることはできませんでしたが、今回皆さんのお陰で有終の美を飾ることができ本当に感謝しております。来年は関本キャプテンのID野球で全国制覇できると信じております。来年も皆さんのご協力のほどよろしく申し上げます。本当にありがとうございました。





西日本野球大会を終えて（一軍）

一軍キャプテン 関本朝久

平成15年5月に金沢で開催された全国大会は、順当に勝ち上がった準決勝で金沢大学と対戦し、惜しくも延長戦の末3-4で破れました。残念ながら田島教授の最後の大会での全国制覇は成りませんでした。その金沢大学は決勝戦9-3で札幌医大を破り優勝したようです。全国大会に負けた日の打ち上げの際に、悲願の全国制覇を期して私が次期キャプテンをさせて頂くこととなりました。これまで田島教授、歴代キャプテン、そしてチームメイトが築き上げて来たすばらしい伝統を汚すことのないよう精一杯ガンバッテいこうと決意しました。全国大会の後、早速8月の西日本野球大会に向けて、これまで通り週2回の練習を始めました。しかしながら昨年の大会はそれまでと違う点が2つありました。ひとつは田島教授御退官後の初めての大会ということ、もうひとつは平成2年入局以来、不動の4番バッターであり、いつもチームを盛り上げてきて頂いた松元先生が今大会は出場できないということでした。このような状況の中、キャプテンとしてチームをまとめる事ができるのか、大会前からとても気がかりでした。さらに昨年の練習は雨の日が多く、連携プレーなど十分にできない上に練習試合も1試合しかできませんでした。私個人としましては試合前のシートノックでチームに勢いをつけるため、キャッチャーフライを確実に決められるようかなり練習しましたが、なかなか一球で決める事ができない状態でした。このように昨

年は例年になく不安を抱えたまま西日本野球大会を迎えることとなりました。私はこの不安の中、過去数年のチーム全員のデータ解析、メンバー交代のパターンやサインなどを考えることで気を紛らしていました。

全国大会出場の切符を賭けた西日本野球大会は、平成15年8月4日、真夏の炎天下の中、熊本市水前寺野球場を中心に開催されました。熊本市は私が遺伝子研究で長年過ごした思い出の街です。この大会は九州・山口地区の12大学のトーナメント方式で行われ、決勝戦に勝ち上がった上位2チームが翌年の全国大会の出場権を獲得できます。前夜祭では毎年懇親会と組み合わせ抽選会が行われます。昨年は華やかなマジックショーが催され、そのマジックショーの中で抽選会も行われました。ここまでは良かったのですが、なんと1回戦で、一昨年の決勝戦の相手であった九州大学と当たってしまいました。さすがに胃が痛くなってきました。一昨年は0-5から一時は逆転するという壮絶なシーソーゲームで7-7でしたが、結局いつものようにジャンケンで4-5と負けた悔しい試合でした。私が入局した平成4年以降、7回全国大会に出場している我々はここで止まる訳にはいきません。昨年の西日本大会は全国大会で田島教授を胴上げするために、何としても全国大会の切符を目標に、そして松元先生の分を皆で少しずつカバーするつもりで13人全員一丸となって臨みました。

1回戦：九州大学（松岡・三橋－福嶋）

組み合わせ抽選でまさか初戦で当たるとは……絶対負けられません。スタンドからは、わざわざ猛暑の中応援に駆けつけて頂いた伊勢先生の大きい声が響いていました。初回相手のエラーにつけ込んで2点先制しました。その後は2回表1アウト満塁、3回表ノーアウト満塁のチャンスを、2回のスクイズ失敗、正面を突くライナーなどで無得点となってしまう、嫌なムードになったのですが、ここでエース松岡先生が踏ん張ってくれました。流れが向こうに行かないうちに4回、5回と追加点を挙げ、6-0とリードできました。6回到ランホームランで得点されましたが、結局6-2で勝利しました。一昨年の決勝戦の組み合わせでしたので、ここで勝って非常に楽になりました。

2回戦：長崎大学（松岡・三橋－福嶋）

初回内野のエラー絡みで、相手に3点先取され、0-3と嫌なムードになっていたのですが、徐々に加点し10-3のコールドゲームでした。油断大敵です。でもこの試合のお陰でチームが引き締まりました。

準決勝：産業医科大学（矢野－福嶋）

ここで勝てば全国の切符です。炎天下の中、皆疲れが出てきました。この試合は0-0で膠着していた中、三橋先生のホームスチールで相手のバークを誘い先取点。このスチールが流れを持ってきました。そして矢野先生の長打、スクイズで追加点など、終わってみれば6-0の完勝でした。

これで来年の全国大会の切符を手にすることができました。私はこの時点で最低限の責任が果たせて、今年の運は全て使い果たしてもいいと思いました。

決勝：琉球大学（池尻・矢野－福元・小菌）

夕方になり少し涼しい風が吹いてきたのですが、もう皆クタクタでした。この試合は大会前の練習試合ですばらしい投球をした池尻先生を先発にしました。福嶋先生はもう翌日の仕事に支障を来しそうでしたのでキャッチャーは福元先生でいきました。過酷なコンディションの中慣れないポジションをしてもらってとても感謝しています。池尻先生はナイスピッチングでした。こちらの失点は全部エラー絡みでした。これは今後の課題です。私は全国大会に行けることが嬉しかったので、この試合は3打数3安打5盗塁でした。結局試合は2-5で負けましたが、全国大会出場権獲得という最高の仕事のできたので、皆大変満足でした。打ち上げでのビールの味は忘れられません。

以上の様に結果は準優勝でした。お陰様で何とか13人の全員野球で来年の全国大会の切符を手にすることができました。真夏の熊本の炎天下の中、1日4試合は本当にきつかったです。私のキャプテンとしての初めての大会で不慣れな点多々あり御迷惑をかけて申し訳ありませんでした。チームのキャプテンを勤めて初めてこれまでの田島教授、歴代キャプテンの気苦労を痛感した次第です。また皆私のサインに首を振ることなく従ってもらって本当にありがとうございました。真夏の試合で疲れているのに率先してボール拾いなどしてチームをまとめて頂いた黒木浩史先生、いつもチームが困った時に登板してしっかり押さえて頂いた矢野先生、慣れないキャッチャーやシート交代を快く引き受けてくれた福元先生、今回からトップバッターを引き受けてくれた安藤先生、内野、外野といろいろ守ってくれた井上先生、決めて欲しいときに必ず何かやってくれた有住先生、膝の調子が非常に悪いにもかかわらず駆け

つけてくれてチームを盛り上げてくれた石田先生、毎試合全力プレーでいつもユニホームが泥んこの池尻先生、いつも大切な試合で必ず押さえてくれるエース松岡先生、松元先生の代わりにチームの4番の役目を果たしてくれた小菌先生、当直の都合で朝早く大会に駆けつけてくれて3試合3番キャッチャーで活躍してくれた福嶋先生、いろいろ雑用が大変なのにショート、抑え、クリーンアップ、運転手をやってくれた三橋先生、皆炎天下の中本当にご苦労様でした。また猛暑の中応援していただいた先生、看護婦さん方、本当にありがとうございました。そして何よりも、ただでさえ当直のやり練りが大変なのに私達を野球大会に気持ち良く送りだして頂いた諸先生方の御支援、御協力に心より感謝申し上げます。いつも思うのですが、野球大会の勝利は教室員全員での勝利です。今後ともいろいろと御迷惑をおかけすると存じますが何とぞよろしくお願い申し上げます。

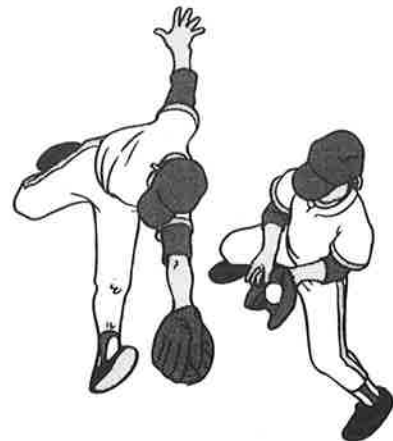
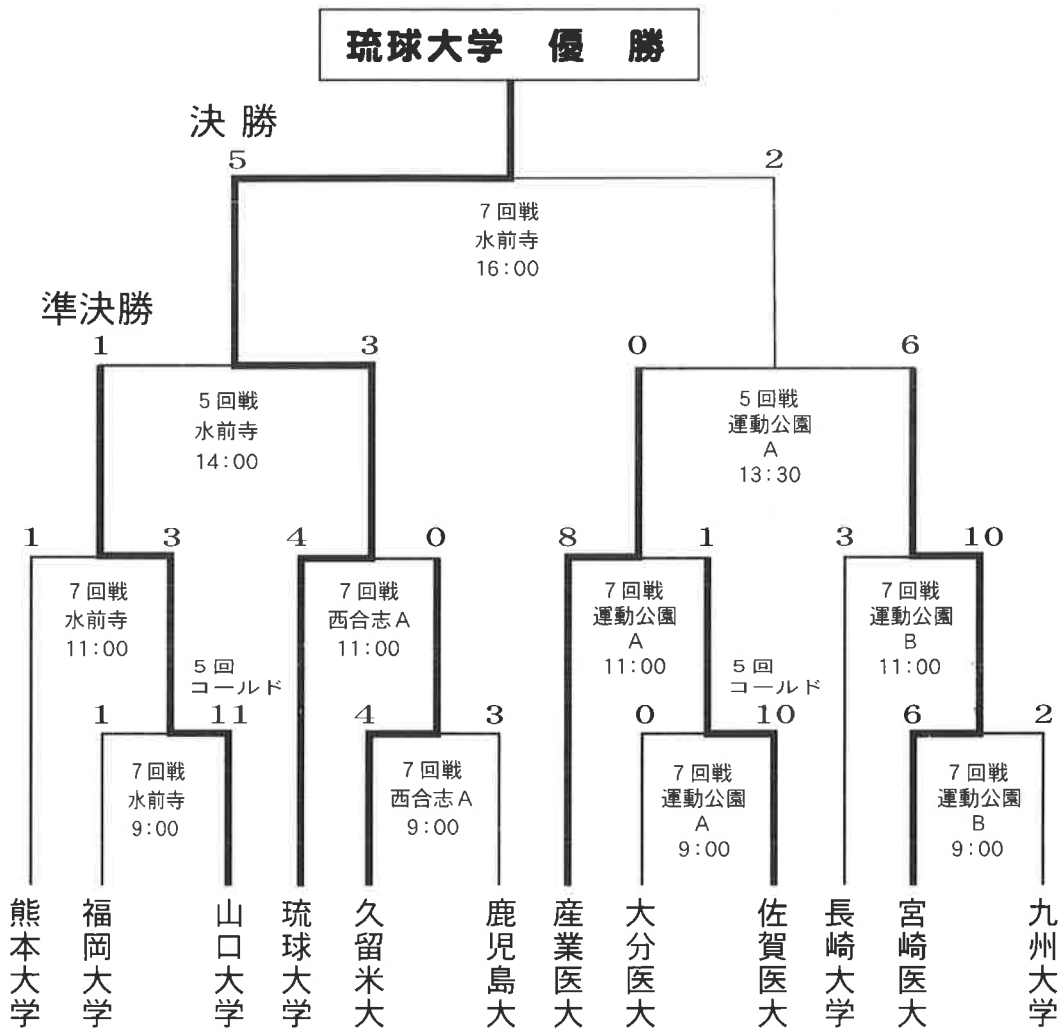
今年の全国大会はいよいよ5月に神戸で開催

されます。いつものように現在週2回の練習を行っています。そういえば昨年の本番のシートノックのキャッチャーフライは2球目で成功することができました。今年こそ初の全国制覇が果たせるようチーム一丸となってガンバッテいこうと思います。今後ともよろしく願い申し上げます。

追伸：今年から14年ぶりに新しいユニホームにすることになりました。前の白いユニホームに負けないくらいの宮崎大学整形外科のイメージが作れるといいなと思います。背番号は早いもの勝ちです。希望のデザインや背番号がありましたら早めに私まで御連絡下さい。最後になりましたが、大会前にキャプテンとしての心構え、作戦を出すタイミング、試合の持って行き方など野球の話をいろいろしていただいた甲子園出場の御経験のある市原正彬先生に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



【一軍】試合結果





西日本野球大会報告（二軍）

二軍キャプテン 後藤 英一

忘れられない夏となりました。
まず、結果報告させていただきます。

- 1 回戦 対佐賀医科大学 7 - 0
(5 回コールド)
2 回戦 対産業医科大学 3 - 4 ×

今年は当初より参加選手が期待していたよりも集まらず、様々な不安を抱えての参戦でありました。キャッチャー候補もままならず、非常にチームとしては危険な状態でしたが、大会直前になり帖佐監督による熱烈な勧誘のおかげもあり何とかチームの形をなして試合当日を迎えました。いざ蓋を開けてみると、序盤こそ公式試合未経験の若者らの固さがあったものの先発の柳園先生の快投に引っ張られるように個々の力を発揮し 1 回戦は見事なコールド勝ちを納めることができました。

さて問題の 2 回戦です。試合としては緊迫した好ゲームでした。序盤で相手に先制されたものの、その後逆転し 3 - 2 で最終回を迎えました。相手の粘りに喰らいつかれツーアウト満塁。ここで守備を固め、流れを変えるため私がセカンドの守備につきました。

私が今年身をもって体に刻み込まれた野球の格言があります。“交代したところに球は飛ぶ”。決して油断していたわけではなく、私の頭の中には打ち取った打球をさばき、ファーストへ送球するイメージを常に頭の中で反芻して

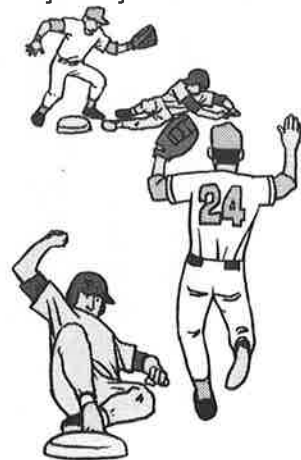
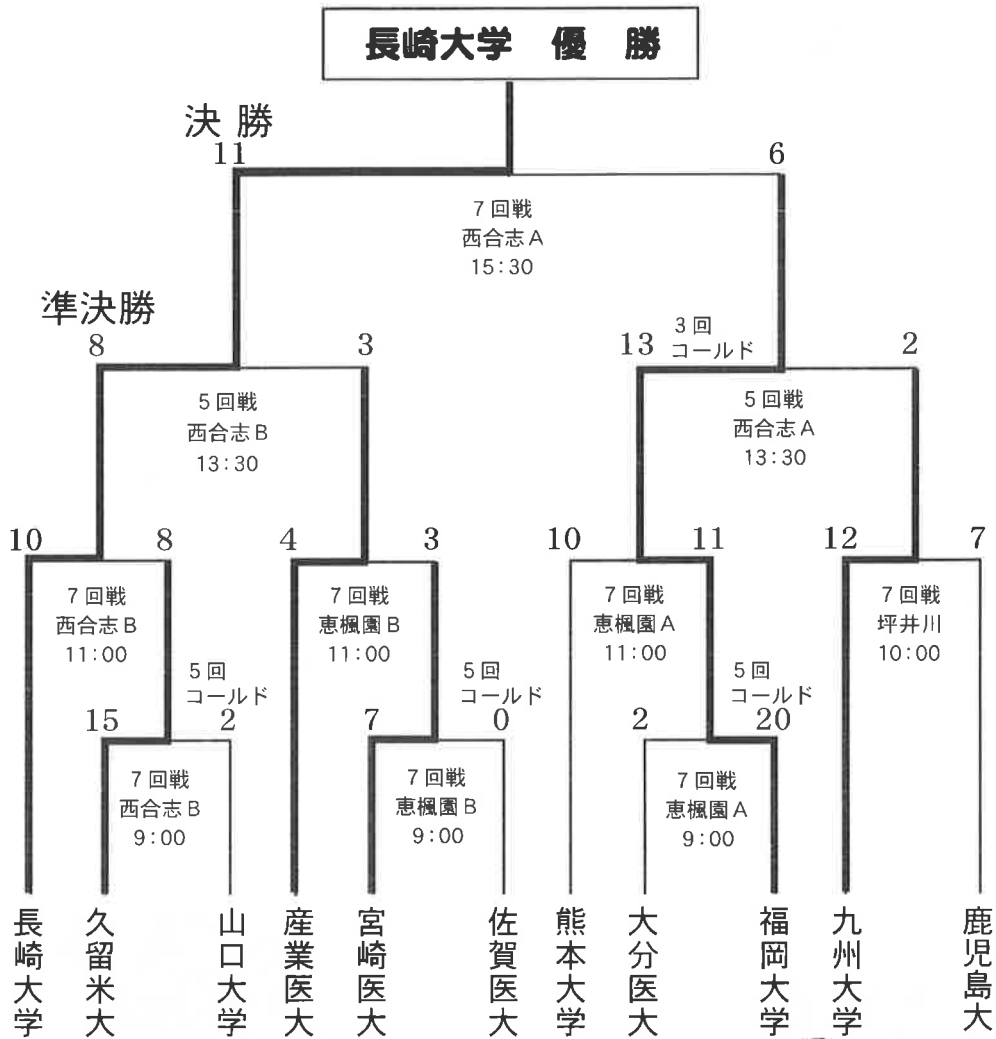
いました。マウンドは黒木隆男先生、気迫のボールに押され打球はまさにイメージ通りのポテポテのセカンドゴロ。誰もが勝ったと思った次の瞬間、ウニングボールは私の股間を通り抜けていきました。この時点で同点。冷静な判断はここまでだったのでしょう。とにかく気にせず、次に集中することだけを心がけた私の目の前にいきなりまたしても、取りごろの内野ゴロ。誰もが同点ジャンケンだと思った次の瞬間、ウニングボールは私のグローブの中で踊りつづけていました。こうして、わが 2 軍の夏は終わってしまいました。

本当に、こんなに悔しくまた情けなく皆に申し訳ない気持ちは初めてのことでした。野球は本当に怖いスポーツであることを思い知らされました。だからこそ勝利の喜びもまた格別なのでしょう。何か個人的な反省文のような報告とになってしまい重ねて申し訳ありません。

来年また機会が与えられるならば、このリベンジを必ずや果たしたいと復讐の炎を燃やしていることを付け加えて終わらせていただきます。

皆様、お疲れ様でした。本当にありがとうございました。そしてすみませんでした。

【二軍】 試合結果





ゴルフ大会～優勝記～

安藤 徹

大学5年生時に友達の結婚式の2次会までの時間稼ぎのためショートコースに行き、はじめてゴルフクラブを握った。それ以来ゴルフを始めて早10年、その魅力にとりつかれ、今日に至るまでゴルフをこよなく愛し、今でも週末には息抜きと偽って辛抱強い家内と2人の愛しい3歳の息子、1歳の娘を家に残し、ゴルフに勤しむ日々が続いている。月1ゴルファーでいうとキャリアは30～40年と言っても過言ではない。現在このペースに匹敵する僕の身近な人間はベテラン整形外科医のM田先生とH.C（ハンディキャップ）1のM山先生くらいであろうか？

平成15年11月30日、整形外科医にとって2

大メジャーの一つである同門会ゴルフコンペが清武町内のレイクサイドG.Cで開催された。奇しくもその日は記念すべき我が34回目の誕生日であり、そのレイクサイドG.Cはわれら(?)のホームグラウンドである。私はかねてよりゴルフのある日曜日だけは前日どんなに深酒をしても朝5時には自然に目が覚める。この日もいつものように目覚めたが、この時だけはその日何かが起こる予感がした。

私は入局して以来、この同門会ゴルフコンペを楽しみに毎年できる限り参加してきた。確か入局2年目には優勝して立派なトロフィーを頂いたこともあったが、その時のスコアは90台でそのころのベストスコアも90そこそこであっ



た。その後整形外科野球大会で（ゴルフの影響とは考えたくないが）打撃不振のため打率が年々下降していくのとは反対にゴルフの腕前は徐々にではあるが上達していった。この1～2カ月はゴルフの調子も良く、今回のコンペにはベストグロス最有力のM山先生も忙しい勤務と手の負傷のため不参加であり、この11月30日ははっきり言って待ち望んだ日であった。

スタートから意識はしてないと言ってもそれは明らかな嘘であり、ショットはいつものように散らばった。しかしトラブルの豊富な経験と地の利を生かし、なんとか大きく崩れずに前半を繰り返した。昼食時には緊張を和らげるためひたすらビールを飲み続けた。そして後半、ア

ルコールの作用は半ばで完全になくなり、それから自分との戦いが始まった。同伴競技者のK野先生も底力を見せ、猛追しているのをひそかに感じていた。粘りながら何とかホールアウト。

そして成績発表。そこには自分の名前が最上位にあった。念願のベストグロ優勝!!である。最高に嬉しかった。ゴルフ場を出てすぐに嫁さんに電話した。「よかったね、おめでとう。」本当に喜んでくれているを感じた。「家族のみんな、僕のわがママをいつも許してくれてありがとう。」

これからも文武両道（＝仕事と家庭とゴルフの両立）を目指して頑張りたいと思います。



同門会テニス報告



第6回 同門会テニス大会報告

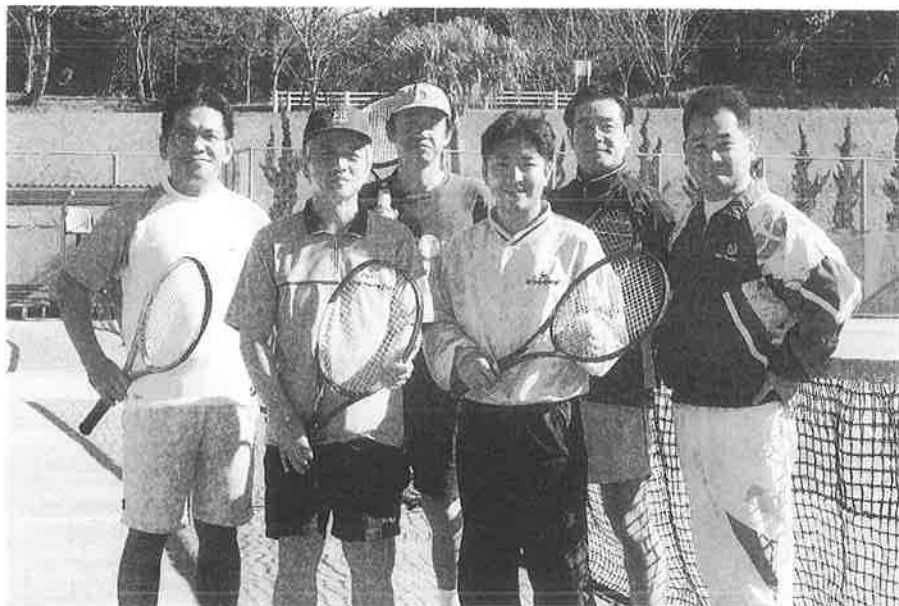
松本英裕

11月23日、晴天の下、参加者6名（川野先生、福田先生、神菌先生、尾田先生、益山先生、小生）で、第6回同門会テニス大会を開催致しました。最後の試合で優勝者が決まる程の接戦で、尾田先生が初優勝されました。おめでとうございます。準優勝者は1ポイント差で、久しぶりに参加された益山先生でした。家族の応援を背に、持ち前の運動センスを発揮されました。来年も参加して頂き、優勝を狙って頂き

たいと思います。

他の先生方も健闘して頂き、6名ながら盛り上がった大会だったと思います。また当日はテニスの練習仲間も遊びに来て頂き、盛り上がり協力して頂いたことを感謝し、来年こそは多くの参加者があることを願いながら報告を終わらせて頂きます。

（来年も11月23日ですよ！）



関連病院紹介



宮崎善仁会病院

黒田 宏

宮崎善仁会病院は平成15年3月に市民の森病院を分ける形で開院しました。主に救急と外科部門が善仁会病院に移ってきています。医師数は現在16名（総合診療科2、内科1、脳卒中診療科1、外科2、整形外科4、婦人科2、リハビリテーション科2、麻酔科1）で、病床数は106床（急性期52、回復期48、ICU6）です。

開院当初は野辺、河原、大倉の3名が整形外科の診療にあたっていましたが、4月には九大を退職して就職された桑畑医師が加わり、現在は宮医大から黒田、福元、福嶋の計4名で診療を行っています。月曜から土曜日までの午前中は交代で一般外来を行っており、手の空いている者が午前中から手術を行うことが出来ます。昨年の手術症例は関節疾患および外傷を中心に318例（うち人工関節38例）でした。手術は基本的には主治医＝執刀医で行っていますが、周りから口も手も出しています。ちなみに○倉先生は人工骨頭をしたことも無いのにTHAを

やって高千穂に行きました。F嶋先生は当初、コーレス骨折が来たら助けを呼んでいたのに、いまや前から、後ろからいろんなプレートをあてて楽しんでいます。K原先生はハンソンピンがお気に入り、いろんなところでハンソンピンを宣伝しています。でも何ももらっていないと言っています。

余談ですが、F嶋先生は当院でよっぽどストレスがたまったらしく、時々夜の町に繰り出しては、蹴りを入れるという醜態を晒しているようです。S病院のK松先生この場をお借りしまして管理不行き届きをお詫びいたします。

回復期病棟の整形外科としての適応疾患は脊髄損傷と大腿骨頸部骨折のみであり、他の外傷等の術後は治療途中で他院にお願いすることがあります。なるべく迷惑をかけないようにきちんとした治療を心がけていますが、何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。今後とも宜しく願いいたします。



串間市国民健康保険病院

川 添 浩 史

串間への転勤が決まり手続きを行うため病院を訪れたときのことで。まず場所が分かりませんでした。とつても裏にありました。着いてみて外観みてびっくり、ぼろっ！いろんな病院に勤務しましたがボロさトップでした。中に入ってまた……事務室に案内され、壁がブロックむき出しだ、とほほ、と思いをがらいったん帰宅。7月1日正式に勤務が始まりました。またびっくり。“オベ室どこ？”“そこ”そこって整形外来の真ん前でした。“入り口が木製だ”更衣室が異様に暑い。“なんで？”“エアコン無いですから”そうです、更衣室には空調無く、夏の間はオベする前に汗だらけになれます。病棟で酸素つないでと頼むと、真っ黒で大きなロケット弾が運ばれてきて、指示に不満を持ったNsに撃たれるのかと思ったら、それが酸素ボンベでした。官舎自体もぼろなんです（推定築34年）中に入ると畳が青いので畳だけは新品かと思ったら一面に青カビがはえているだけでした。でもエアコンが入るのでとても文化的な気持ちになりました。

でもここで人間のすばらしさを実感することになりました。オベ室が外来の真ん前に木製ドアで待っててくれることも、病棟にロケット弾が並んでいることも、官舎にみたこともない虫が挨拶にくることも、いろんなことが気にならなくなり、環境への適応能力に感謝しました。

それと特筆すべきことは平成17年に新病院が完成し同時に電子カルテがスタートする予定です。1年半後本当にきれいでいい病院に生まれ変わる予定です。それに向かっていろんなことを決めていかないといけないのですが、私が赴任したとき計画は進行していたのですが、訳も分からないのに電子カルテ委員の副委員長に任命され、新病院の設計図を初めてみるのに意見を求められ、もうぼろな病院でがんばるので許してくださいという気持ちでいっぱいです。

こんなことばかり書くと変なところと思われるかもしれませんが、けっしてそんなことはありません。このようなすてきな環境の中仕事は結構忙しいです。串間にはここ以外整形外科はありません。一応外来は再診予約制となっていますが、予約は30人しかいないのに診察には90人訪れる日もあります。手術日は週4日です。患者数としては内科に匹敵するものがありこの病院から整形が無くなったら病院はつぶれるんじゃないかというくらい整形への期待は大きいものがあります。いささか疲れ気味ではありますががんばってます。宮崎の南の端で地域に貢献する病院、それが串間市国民健康保険病院です。（新病院建築で背負った借金は返せるのかな？）

串間のいいとこ？串間に転勤になってから肩が凝らなくなりましたね。

＝夫を語る＝

三財病院整形外科 松本英裕（妻）

松本美保

さて、問題です。

一番最初に思いつく四字熟語は何ですか？

二番目に思いつく四字熟語は何ですか？

夫にこの質問をしたら、「一番最初に思いつくのは、大器晩成。二番目は……そうだな、魑魅魍魎かな」という答えが返ってきました。実は、これは心理ゲームで、これがなかなか当たるのです。

一番目に答えたのが、「人生」、二番目に答えたのが、「恋愛」だそうです。

何をもって大器というのか、晩成とはいったい何歳なのか……と、眉間に皺をよせ、考えを巡らせながら、主人の顔をチラリと見ますと、いつもと変わらず柔らかな顔で、ニッコリ。あはは……ま、そんなこと、どうでもいいか〜。この人を、大器と言わずに何といみましょう（ちょっと誉めすぎ）……という結論に。

宮崎の病院に就職して、もう5年が経ちます。これまでは、北海道、青森、神戸の労災病

院で、多忙な毎日を送ってきました。夫は、どんなに大変な時でも、毎日変わらず元気に仕事に出かけていました。感謝の気持ちを持って、笑顔で楽しく仕事をしてきたのだと思います。そんな夫を、宮崎に帰ってからは、じっくり見ることができ、色々なことを語り合える時間を持つことができるようになりました。夫の心にも余裕がでてきたようで、宮崎の骨粗鬆症の患者さんを一人でも少なくという地域医療の夢が膨らんでいます。ついでに体の方も、膨らんでいます（ダイエット中……）。

成りたい自分になるために、がんばっている夫をみていますと、彼が心から愛する宮崎へ来て、本当に良かったと思います。主人の生き方に、私も励まされ、活かされ、毎日感謝の気持ちでいっぱいです。夫の晩成を願いつつ、内助の功を果たすべく、努力していきたいと思っております。

それにしても、二番目の答えの魑魅魍魎って、いったい何なのでしょう。おぞましい恋愛経験でもあるのでしょうか。ま、まさか……私のこと!?(汗)



専門医試験を終えて……

川 野 彰 裕

平成15年の1月に整形外科専門医試験を受験しました。早いもので約1年が過ぎました。試験勉強をするのは国家試験以来約7年ぶりで、戸惑いがありましたが、学生時代と同様にお尻に火が付いてからのラストスパートは我ながら“あっぱれ”でした。確かに試験はきつかったですが、夜もきつかった？3泊4日でした。久しぶりの同期生再会であったため、試験前日に羽田到着と同時に、夜のミーティングの集合がかけられました。特にM田先生、Mり先生とは毎晩、夜遅くまでアルコールと格闘してきました。また面接が終わったら、お気に入りの牛

タン屋に行きました。四ッ谷にある“しのぶ”という店で、埼玉医大に麻酔の研修に行った先生は必ず連れて行ってもらいます。焼きタン、ゆでタン、塩タン、タンシチュー、そして最後はタン雑炊です。ぜひ、東京で学会があるときは立ち寄ってください。四ッ谷駅から徒歩10分です。人気の店なので少し待ち時間がありますが、ほんとにおいしいですよ。

ということで、無事に試験に合格いたしました!？ 今後は専門医として責任もって診療にかかわっていきたいと思います。





変わっていない試験対策

河原 勝博

入局以来、同門会誌での先輩方の専門医合格の記事を楽しんで読んでいました。今回書く側になったことが不思議に思えます。

私は以前から試験や学会発表などがあるとすぐに準備を始めます。今回の認定医試験にしても諸先輩の体験記を参考にして3年目の県立宮崎病院から自分の経験した症例の画像を保存し、また参考になる症例についてもピックアップしていました。このような下準備もあり症例集めには苦労はしませんでした。試験問題集も早くから購入していました。準備万端です。しかし、ここから学生時代から変わらない点があります。私は物事の準備をすると安心し肝心の本題にはなかなか入らずに最終的に直前でばたしてしまうのです。今回も症例集め後、レポートまとめをだらだらして締め切り直前で提出しました。また問題集も早めに始めたのですが基礎の問題でつまずき、教科書を一から勉強し直したら12月に入り問題集を1回も終了していないありさまでした。とりあえず分からな

くても1度問題集を全部解けばよかったと思いました。

年末は野崎東病院の当直で泊まり込みのラストパートをかけて、正月は学生時代進級の度にお祈りしていたえびの金松法然寺に合格祈願をし、出発前には長男には手書きで、「ごうかくしてね」のメッセージをもらいました（学生時代は彼女〈現在の奥さん〉から発破をかけられていましたが。）まさしく学生時代繰り返してきた試験前の光景です。やはり歳をとっても変わらない試験対策でした。そんなこんなで今回も合格できました。合格後送られてきた専門医の金のプレートは「これから整形外科をしていいよ」と通行手形を渡された感じです。これからさらに知識・経験・技を積まないことにはいけないと12月までいた宮崎善仁会病院でひしひしと感じました。

最後にこの場をお借りして今まで研修をさせていただいた病院、ならびに指導医の先生、患者さんに感謝いたします。





整形外科専門医試験 合格への道

栗原典近

H15年4月専門医試験の告知が日整会誌に載ったとき、ついに専門医試験を受ける年代になったのか、というのが最初の感想でした。症例集めは目星をぼちぼちつけていたのであまり迷いませんでした。M先生に「はえーが」といわれつつ、7月頭に症例提出、それから9月まではK先生がもうやっているらしいとの噂を聞きながらも何もしませんでした。いっぺんになかなかできない性格ですので、暇を見つけてはこつこつ問題集を開始しました。

平成15年1月東京お台場に行って来ました。ホテルパンパシフィックメリディアンに宿泊しました。夜は早速同期の諸先生方と飲んでしまい、寝てしまいました。

1日目。筆記試験は問題集に載っていない問題ばかりで、かなり焦った覚えがあります。いかつい風貌の高知医大の山本博司先生になぜか僕だけ「じゃ、がんばって」といわれ、動揺したせいもあるかもしれません。結局2回目の見

直しが2/3ぐらいまでしかできませんでした。その夜は晩酌のみでした。

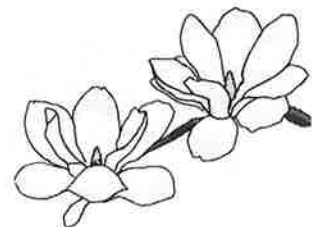
2日目。面接は緊張しましたが、問題集に載っている症例でしたので、問題なく終わりました。やはり完全に答えるよりも少し出題者につっこませた方がよいのかなという感じはしました。

すべて終わって、10時にはフリーになったので風邪を引いていたN先生とフジテレビの売店でおみやげを買い、街に遊びにも行かず帰ってきました。(ほかの先生は?)

すべて終わってみると、こんなものかな、という感じがしましたが、今まで自分が知らなかったり、曖昧であったところの総括ができたので、勉強になったと思います。

合格は忘れた頃に、認定証と金ぴかのバッヂとともにやってきました。

H15.11月末日





専門医試験に合格して

前田和徳

専門医試験、入局した時は、まだまだ先の事
と思い、実際自分が受ける立場になると、時の
流れの速さに、驚きました。

なにから手をつければいいのか全くわから
ずに、あせっている横で、同級のK先生がこつ
こつと試験に取り組んでいる姿がまず思い浮か
び、そのK先生の勉強をいかに邪魔するかが、
私の試験勉強の始まりでした。さすがに10月
も終わりになると焦りがではじめ、日々諸先生
に活を入れられながら勉強に取り組み始めた姿
を思い出します。(特にS先生には、常に脅さ
れていたような……。)

一生の中で最後の試験だと自分に言い聞か
せ、苦手な勉強に取り組みました。しかし、問
題集に取り組むにあたり、基礎がなく大変苦労

しました。

今、考えると少しでも早く取り組めば精神
的に楽だったかなと痛感してはいますが、あま
り早く取り組んでも集中力がもたないのではと
(人それぞれペースはあると思いますが)。

これから試験を受けられる先生にアドバイス
するとしたら、周りが勉強を始めた時、焦り始
めれば、試験は大丈夫だと思います。実際試験
に、東京に行ったときは、久しぶりに同級と会
え、おいしい酒を飲むことができ、いい気分転
換となりました。

最後に、今回の試験にあたり大変気を遣って
頂いた諸先生方に感謝申し上げます。これから
も何卒宜しくお願いいたします。





専門医に合格して

森 治 樹

昨年の専門医試験の経験をお話します。今後、試験を受けられる方に参考になれば幸いです。

まず、7年目以上の医師に資格があります。そのうち、研修指定病院に3年以上の勤務が必要です。要点は毎年、日整会誌4月号に書いてあるので読んでください。最初に自分の経験した10症例のレポートを提出しなければなりません。そのうち8症例は指定された分野から、残りの2症例は自由に選べます。指定された8症例のうち1、2症例は悩む場合があります(たとえば代謝、骨系統疾患など)。多かれ少なかれ経験はしていると思うのですが、症例を保存していなかったり、follow期間が短かったり(3ヶ月以上のfollowが必要です)などの理由で苦勞します。ですから、今のうちにめぼしい症例は、1、2例ほど保存しておいたほうがよいと思います(画像も必要です)。10症例をま

とめて7月までに提出するのですが、時々、再提出を求められることもあります。

レポート提出が終わると、いよいよ試験勉強をするのですが、専門医試験問題集から3、40問ほど出題されるので(全120問)、その問題集を中心に勉強していくのですが、結構難しいです。仕事をしながら、勉強するのになかなか先に進まないので余裕を持って始めてください。2~3回ほど目を通しておいた方がよいでしょう。

試験は1月、東京で行われました。1日目は筆記試験で2日目は面接でした。受験料、交通費、宿泊費などを含めて20万円ほどかかりました。今後は、腫瘍の単位が必須など少しずつ大変になってくると思いますががんばってください。





送別会 & 医局旅行

厚生委員長 山本 恵太郎

前年まで3期に渡り厚生委員長を務められた矢野先生が、ベストジャーナリスト5回で永久ジャーナリストになったキムタクらと同じく、“厚生係＝宴会丸” 永久艦長として勇退され、今年より自分が厚生委員長を仰せつかりました。前任者の功績が大きく（〇〇も大きい）、大変な役職を任されてしまいました。今年の大きな行事は2つ。3月に田島教授の送別会ならび9月の医局旅行についてご報告致します。

3月の送別会は、田島教授の御退官と後藤啓輔・内田・栗原先生の出向を兼ねた会でした。途中からは司会勝馬の大暴走ならび11月に結婚された福嶋秀一郎・岡田麻里先生のキューピット劇場であった後藤グループの崩壊を祝う園田先生の大爆発があり、会場は異次元バトルに変わってしまいました。ただ、その状況でも変わらぬ田島教授の寛大さと自分の「まあ、いいか。」の楽天家には、改めて感心した次第です。

次いで、9月の医局旅行。今年は指宿へ。宿泊はあの高名な“松風さやか 雅の宿” 指宿白水館。キャッチフレーズ“往時をしのぶ、くつろぎの湯 元禄風呂・砂むし温泉で癒しの一夜をあなたと”と銘打つ（何時決まったかは不詳）と、夫婦4組・子供4人・看護師さんはなんと9人も来てくださり総勢38名の団体様御一行とあいなりました。（子供達が少なかったのは、温泉を満喫するためか？それとも看護師

さん達が多かったから？謎です。）そして、田島名誉教授もご都合を合わせてくださり参加して頂けました。今回こそは名誉教授にご無礼がないよう細心の注意で臨みましたが……、さて。

往きのバスでは後部座席はすでに酒盛り状態で、なんと、わが厚生部の永久艦長が中心に座り、周りに看護師さん達を待らせているではないか（このために任務交代と家族同伴なしの作戦だったのか）、やられた～。しかし、知覧特攻平和会館ではさすがの酔っぱらい軍団も神妙に涙し、池田湖の大鰻にはビックリしていました。

そして、着いた白水館の豪華なこと。温泉、砂蒸し風呂、プール、観光と各々が楽しみ、いざ、夜の大宴会へ。料理もうまかったけど、余興も大ジャンケン大会・リズム4ゲーム・人間ビンゴなどで大盛り上がり。特に、利き酒コンテストでは、焼酎・ビールのほかに看護師さんなどの女性陣を当てるコーナーがあり、回答者はただの〇〇おじさん状態でした。また、新婚度チェックゲームでは、渡邊・鳥取部・山元美智子・吉川夫婦の珍回答、特に鳥取部先生と奥さん（以前研究棟で働いていた旧姓金丸さん）の珍回答には会場は爆笑の渦と化しました。ただ、これで終わらず二次会は全員で花火合戦になり、危うく火傷人や溺れ人がでる騒ぎでした。楽しい一夜でした。

復路は、長崎鼻パーキングガーデンでねずみ

のチュー学校、あひるの運動会やニシキヘビ・リスザルなどを楽しみ、無事帰ってまいりました。

こども達は、直紀くん（帖佐先生長男）はおとなしくしっかりとしたお兄ちゃん、恵ちゃん（事務・佐伯さん長女）は明るく活発で新体操芸を披露してくれ、安以ちゃん（鳥取部先生長女）は2歳でとっても可愛いく、みんなのアイドルでした。ついでに、耀太郎（山本長男）は“一人全参加状態”で参加者みんなに顔を覚えられるくらい、はしゃいでいました。そう、ご無礼のないように……のはずが、自分の一番身近なところに落とし穴が……。でも、名誉教授もこの旅行を大変喜んで頂けたとの事で何よりでした。

長々とまとまりの無い文を書いて誠に申し訳ありませんでした。また、医局旅行中は他施設の先生方にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、来年以降も楽しい医局旅行が続けばと切に願う次第です。

最後に、私事ですが自分の使命は全うできたかなという満足感で一杯です。来年もし参加できる事になれば、一参加者として“わんぱく三太郎”を連れて参戦したいと考えております。次回参加者はご注意を。

それでは、皆様にとって2004年も良い年になりますようお祈りします。

また、今後とも、厚生係をよろしく願い致します。





新入会員自己紹介



氏名 小島 岳史
生年月日 昭和 53 年 10 月 4 日
出身高校 福岡県立福岡高等学校
出身大学 宮崎医科大学
血液型 B 型

家族全員の反対を押し切り、この度、宮崎医大整形外科に入局させていただきました。どうも、S がつくことが好きなようで、Soccer、Surfin、Study、Sweet love の 4 つが趣味です。
どうぞよろしくお願ひ致します。



氏名 崎 濱 智 美
生年月日 昭和 51 年 8 月 6 日
出身高校 宮崎県立宮崎西高等学校
出身大学 島根医科大学
血液型 A 型

整形外科に入局させて頂いて半年が経ちました。
私は外の大学からこちらへ帰ってきたので、初めは、院内で御飯を買う場所すらわからず、かなり心細い思いをしたこともありました。
でも、入局当初より、上の先生方に大変かわいがって頂き、今では仕事にも宮崎の夜の街にも慣れてきました。
毎日いろいろなことを勉強させて頂き、楽しい社会人生活を送っています。
まだまだ至らないことも多いですが、医師として少しでも成長できるように、がんばりますので、よろしくお願ひします。



氏名 福島克彦
生年月日 昭和50年6月1日
出身高校 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校
出身大学 岩手医科大学
血液型 A型

梅雨の蒸し暑さを久しぶりに体験し、宮崎に帰ってきたことを実感しました。去年の今頃は岩手に残るか宮崎に帰るか悩んでいた頃です。入局して6カ月経過し、仕事のほうも少し慣れた今では、この選択は間違っていなかったと確信しています。

まだ、未熟者でありますので、いろいろな面（仕事、私生活）でご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導のほどよろしくお願いします。



氏名 三橋龍馬
生年月日 昭和52年7月3日
出身高校 東京都立八王子東高等学校
出身大学 宮崎医科大学
血液型 B型

今年より宮崎大学との合併により宮崎医大の名称はなくなり、我々は宮崎医大最後の卒業生となりました。学生時代は野球部に所属し、主将も務めさせて頂いた為に存じ上げている野球部諸先輩先生方が当医局には数多く在籍しており、気さくな雰囲気の医局であろうと予測していたもののいざ入局してみると野球部諸先輩方は勿論、そうでない先生方も非常に楽しく予測していた以上の雰囲気の良さを実感しております。お世辞にも優秀であるといえる脳は持ち合わせておりませんが、要領と反射神経、体力（主に白筋的な）は人並み以上であると自分では思っております。自分なりに頑張りますので今後色々とお指導御鞭撻の程を宜しくお願い致します。



氏名 吉川大輔
生年月日 昭和50年12月20日
出身高校 熊本県立熊本高等学校
出身大学 宮崎医科大学
血液型 O型

H15年度新入局員の吉川大輔です。

宮崎へ来て、はや9年、やっと社会人としてのスタートを切ることができました。現在は、心身共に充実した日々を送れているように思います。

まだまだ至らない面も多いかとは思いますが、御指導の程よろしく願いいたします。



氏名 吉川教恵
生年月日 昭和50年10月4日
出身高校 鹿児島県立鶴丸高等学校
出身大学 宮崎医科大学
血液型 O型

H15.5月入局させていただきました。

昨年の今頃は入局先を迷い悩んだ日々を送っていましたが、整形外科学教室に入局させていただいて6カ月、今は、整形に入局して良かったと思っております。

これからも、まっすぐつつ走っていきます。

御指導の程よろしく願いします。

教室同門の研究業績

(2002. 1月～12月まで)

◆原 著

- 1) 高齢者大腿骨頸部骨折における社会的背景とADLの推移についての検討
松岡 篤, 田邊龍樹, 松元征徳, 田爪陽一朗, 戸田 勝, 矢野浩明
整形外科と災害外科, 51(1):84-88, 2002.
- 2) スプラウトピンによる上腕骨近位端骨折の治療経験
浪平辰州, 江夏 剛, 前田和徳
整形外科と災害外科, 51(1):108-112, 2002.
- 3) 当科における人工肩関節置換術の術後成績
本荘憲昭, 柴田陽三, 緑川孝二, 内藤正俊
整形外科と災害外科, 51(1):128-135, 2002.
- 4) 骨接合術に対するAcutrak screw(ACUMED)の使用経験
山本恵太郎, 帖佐悦男, 園田典生, 黒木龍二, 矢野浩明, 田島直也
整形外科と災害外科, 51(1):189-192, 2002.
- 5) BTB 法とSTG法によるACL再建術の比較 術後の筋力回復からの考察
中村真由美, 田島直也, 園田典生, 山本恵太郎, 黒木俊政, 樋口潤一
国立大学理学療法士学会誌, 23回号:52-55, 2002.
- 6) Influence of bioresorbable, unsintered hydroxyapatite/poly-L-lactide composite films on spinal cord, nerve roots, and epidural space
Masanori Matsumoto, Etsuo Chosa, Kazuki Nabeshima,
Yasuo Shikinami, Naoya Tajima
J Biomed Master Res, 60:101-109, 2002.
- 7) Hydroxyapatite block for use in posterolateral lumbar fusion: a report of four cases
Koji Totoribe, Naoya Tajima, Etsuo Chosa,
Masanori Matsumoto, Hiroaki Kataoka, Masashi Koono
Clinicai Orthopaedics and Related Research,
399:146-151, 2002.

8) Spinal Cord Mechanics During Flexion and Extension of the Cervical Spine : A Finite Element Study

Jeffrey Scifert, Koji Totoribe, Vijay Goel, Jan Huntzinger
Pain Physician, 5(4) : 394-400, 2002.

9) Mechanical analysis of the lumbar vertebrae in a three-dimensional finite element method model in which intradiscal pressure in the nucleus pulposus was used to establish the model

Keisuke Goto, Naoya Tajima, Etsuo Chosa, Koji Totoribe,
Hiroshi Kuroki, Yuichi Arizumi, Takashi Arai
Journal of Orthopaedic Science, 7(2):243-246, 2002.

10) 医学部ラグビー部員の頸部周囲筋力

田島卓也, 田島直也, 帖佐悦男, 園田典生, 山本恵太郎
日本臨床スポーツ医学会誌, 10(3) : 490-494, 2002.

11) HATCPコーティング人工骨頭の術後5年以上のX線学的検討

黒沢 治, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 村上恵美, 田島直也
整形外科と災害外科, 51(4):709-712, 2002.

12) 片麻痺に合併した大腿骨頸部骨折の治療成績

浪平辰州
整形外科と災害外科, 51(4):713-716, 2002.

13) 寛骨臼回転骨切り術の手技と長期成績—寛骨臼球状骨切り術 (SAO) —

長鶴義隆, 松岡知己, 川添浩史, 坂田勝美
Hip Joint, 28 : 26-30, 2002.

14) HATCPコーティング人工骨頭の5年以上の成績について

坂本武郎, 帖佐悦男, 渡邊信二, 村上恵美, 田島直也
Hip Joint, 28 : 388-390, 2002.

15) 水中運動の整形外科疾患、内科疾患への応用について

—第1報：フィットネスクラブ利用者の意識調査—

獅子目賢一郎, 黒田 宏, 尾田朋樹, 鳥取部光司
九州・山口スポーツ医・科学研究会誌, 14 : 99-102, 2002.

- 16) Effect of direct angiogenesis inhibition in rheumatoid arthritis using a soluble vascular endothelial growth factor receptor 1 chimeric protein
Sekimoto T, Hamada K, Oike Y, Matsuoka T, Matsumoto M,
Chosa E, Suda T, Tajima N, Yamamura K.
The Journal of Rheumatology, 29 : 240-245, 2002.
- 17) Region-specific gastrointestinal Hox code during murine embryonal gut development
Kawazoe Y, Sekimoto T, Araki M, Takagi K, Araki
K, Yamamura K.
Development Growth & Differentiation, 44 : 77-84, 2002.
- 18) Naso-maxillary deformity due to frontonasal expression of human transthyretin gene in transgenic mice
Noguchi H, Kaname T, Sekimoto T, Senba K, Nagata Y, Araki M,
Abe M, Nakagata N, Ono T, Yamamura K, Araki K
Genes to Cells, 7 : 1087-1098, 2002.
- 19) Targeted disruption of the Tab1 gene causes embryonic lethality and defects in cardiovascular and lung morphogenesis
Komatsu Y, Shibuya H, Takeda N, Ninomiya-Tsuji J, Yasui T,
Miyado K, Sekimoto T, Ueno N, Matsumoto K, Yamada G.
Mechanisms of Development, 119 : 239-249, 2002.
- 20) 慢性関節リウマチにおけるsoluble VEGFR1-Fcを用いた血管新生抑制療法の効果
関本朝久, 渡部正一, 帖佐悦男, 谷脇功一, 市原正彬, 田島直也
リウマチ, 42(2) : 421, 2002.
- 21) 慢性関節リウマチにおける血管新生抑制療法の効果
関本朝久, 帖佐悦男, 田島直也, 浜田浩一, 尾池雄一, 須田年生,
山村研一
日本整形外科学会雑誌, 76(3) : 50, 2002.
- 22) VEGFと血管新生
関本朝久
関節外科, 21(7) : 116-117, 2002.

- 23) Clinical results of posterolateral fusion for degenerative lumbar spinal disease : a follow-up study of more than 10 years
Hiroshi Kuroki, Naoya Tajima, Shinichiro Kubo
Journal of Orthopaedic Science, 7(3) : 317-324, 2002.
- 24) The Biomechanical Effects of Multilevel Posterior Foraminotomy and Foraminotomy with Double-Door Laminoplasty
Shinichiro Kubo, Vijay K.Goel, Seok-Jo Yang, Naoya Tajima
Journal of Spinal Disorders & Techniques,
15(6) : 477-485, 2002.
- 25) Adrenomedullin stimulates the growth of cultured normal human osteoblasts as an autocrine/paracrine regulator
Hamada H, Kitamura K, Chosa E, Eto T, Tajima N.
Peptides, 23(12) : 2163-2168, 2002.

◆症例報告

- 1) 外傷後鎖骨遠位端骨溶解症の1例
飯干 明, 濱中秀昭, 伊勢紘平
整形外科と災害外科, 51(1) : 100-103, 2002.
- 2) 透析患者に発症した大腿四頭筋腱皮下断裂の一例
濱中秀昭, 飯干 明, 伊勢紘平
整形外科と災害外科, 51(1) : 168-171, 2002.
- 3) 高齢になって診断されたアルカプトン尿症の1例
斉田 光, 柴田陽三, 緑川孝二, 本荘憲昭, 内藤正俊
整形外科と災害外科, 51(3) : 629-633, 2002.
- 4) 神経根症状を呈し椎間板嚢腫との鑑別が困難であった椎間板ヘルニアの1例
野中隆史, 樋口潤一, 園田典生, 山本恵太郎, 田島直也
宮崎県医師会医学会誌, 26 : 154-158, 2002.

その他

- 1) [腰痛症発生メカニズムと診断, 治療] 腰痛症の診断 スポーツと腰痛
田島直也, 帖佐悦男, 園田典生
現代医療34 : 578-583, 2002.
- 2) 体幹装具 腰仙椎装具 ナイト (Knight) 型装具
帖佐悦男, 田島直也
総合リハビリテーション, 30(5) : 467, 2002.
- 3) [「運動器の10年」運動器疾患の征圧に向けて] 骨と関節のトピックス 脊椎疾患 職業やスポーツに伴う腰痛
田島直也
クリニシアン, 49(5-6) : 589-593, 2002.
- 4) たかが野球, されど野球
田島直也
整形外科, 53(6) : 726, 2002.
- 5) [専門分野/この1年の進歩] 日本脊椎脊髄病学会—この1年の進歩
田島直也
臨床整形外科, 37(10) : 1176-1179, 2002.
- 6) [健康・体力づくりの指導者—現状と課題— (その1)] スポーツドクター —日本整形外科学会認定スポーツ医—
田島直也
保健の科学, 44(11) : 834-839, 2002.
- 7) 今後の医学教育
田島直也
骨・関節・靭帯, 15(10) : 1013-1015, 2002.
- 8) 卒後研修講座 スポーツによる脊椎傷害
田島直也, 帖佐悦男
整形外科, 53(13) : 1701-1707, 2002.

◆学会報告

1) 片麻痺児への手術効果—床反力計による長期的検討—

山口和正, 柳園賜一郎

第18回九州小児整形外科集談会, 2002, 1, 福岡.

2) 腰下肢痛を主訴とした仙骨くも膜嚢腫の治療経験

栗原典近, 田島直也, 久保紳一郎, 後藤啓輔, 中村嘉宏,
上通一師

第16回宮崎痛みの研究会, 2002, 1, 宮崎.

3) 宮崎県高校野球選手に対する傷害調査

大倉俊之, 山本恵太郎, 矢野浩明, 黒木龍二, 園田典生,
帖佐悦男, 田島直也

第26回宮崎県スポーツ医学研究会, 2002, 2, 宮崎.

4) 両膝外側円板状半月に左大腿骨離断性骨軟骨炎を合併した1症例

桐谷 力, 小松奈美, 山本恵太郎, 園田典生, 帖佐悦男,
田島直也

第26回宮崎県スポーツ医学研究会, 2002, 2, 宮崎.

5) 種子骨嵌入を伴う母趾IP関節背側脱臼の治療経験

公文崇詞, 木屋博昭, 弓削孝雄, 藤本 徹, 田口 学, 西里徳重,
東 高弘

第26回宮崎県スポーツ医学研究会, 2002, 2, 宮崎.

6) 高校女子長距離チームを勝たせるためにメディカル面ができる事

獅子目賢一郎, 黒田 宏, 鳥取部光司

第26回宮崎県スポーツ医学研究会, 2002, 2, 宮崎.

7) 当科におけるWatson法の治療経験

矢野浩明, 黒木龍二, 帖佐悦男, 谷畠 満, 園田典生,
山本恵太郎, 田島直也

第23回九州手の外科研究会, 2002, 2, 佐賀.

- 8) 開放骨折4ヶ所を含め17ヶ所の骨折を起こした多発外傷の一例
寺原幹雄, 有菌 剛, 小林邦雄, 徳久俊雄, 高妻雅和,
阿久根広宣, 喜多正孝, 後藤英一, 永吉徹郎
第19回宮崎救急医学会, 2002, 2, 都城.
- 9) DICを起こした血球貧食症候群の一例
中村嘉宏, 土井宏太郎, 是枝麻子, 西村絵美, 松岡博史,
白坂哲朗, 浜川俊朗, 高崎真弓
第19回宮崎救急医学会, 2002, 2, 都城.
- 10) 脾臓瘍, 感染性動脈瘤を合併したMRSA感染性心内膜炎の一症例
土井宏太郎, 中村嘉宏, 是枝麻子, 西村絵美, 松岡博史,
白坂哲朗, 浜川俊朗, 高崎真弓
第19回宮崎救急医学会, 2002, 2, 都城.
- 11) 宮崎県での救急患者搬送用ヘリコプタの必要性について頸髄損傷患者を民間医療用ヘリで搬送した一経験から
長田直人, 坂田勝美, 川添浩史, 白石成二, 江川久子, 丸田豊明,
黒木孝子
第19回宮崎救急医学会, 2002, 2, 都城.
- 12) 片麻痺に合併した大腿骨頸部骨折患者の歩行能の検討
浪平辰州, 坂田勝美
第24回宮崎リハビリテーション研究会, 2002, 2, 宮崎.
- 13) 宮崎県立こども療育センターの12年
山口和正, 柳園賜一郎, 福嶋秀一郎
第24回宮崎リハビリテーション研究会, 2002, 2, 宮崎.
- 14) 高齢者における頸椎手術後のADL改善度および術後合併症の検討
鳥取部光司, 田島直也, 帖佐悦男, 黒木浩史, 久保紳一郎,
後藤啓輔, 栗原典近, 中村真由美, 日高 隆
第24回宮崎リハビリテーション研究会, 2002, 2, 宮崎.
- 15) 同一プログラム施行による膝前十字靭帯再建術後の比較—筋力からみたBTB法とSTG法—
中村真由美, 日高 隆, 田島直也, 鳥取部光司, 園田典生,
山本恵太郎, 黒木俊政
第24回宮崎リハビリテーション研究会, 2002, 2, 宮崎.

- 16) Utilization of flexor Superficialis of ring finger to reconstruct thumb opposition
Ryuji Kuroki, Etsuo Chosa, Naoya Tajima, Mary S.Pesco
Hand Surgery in the New Millennium, 2002, 3, Seoul.
- 17) 両上眼瞼のpanniculitisを伴ったMikulicz病と思われる一例
小牧 亘, 甲斐泰文, 田中弦一, 黒木昌幸, 佐々木 隆,
村井幸一, 岡山昭彦, 坪内博仁, 宮國 均, 春田 厚, 鍋島一樹
第23回九州リウマチ学会, 2002, 3, 大分.
- 18) スポーツ選手の距骨離断性骨軟骨炎に対する鏡視下骨接合術の治療経験
山本恵太郎, 田島直也, 帖佐悦男, 園田典生
第28回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2002, 3, 高知.
- 19) 日整会認定スポーツ医の立場から
田島直也
第28回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2002, 3, 高知.
- 20) 慢性関節リウマチにおけるsoluble VEGFR1-Fcを用いた血管新生抑制療法の効果
関本朝久, 渡部正一, 帖佐悦男, 谷脇功一, 市原正彬, 田島直也
第46回日本リウマチ学会学術集会, 2002, 4, 神戸.
- 21) 早期荷重を実施したセメントレスシステム(HATCPコーティング人工骨頭)の成績
帖佐悦男, 鳥取部光司, 坂本武郎, 田島直也
第39回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2002, 5, 東京.
- 22) 人工膝関節置換術における骨移植の力学的検討
鳥取部光司, 帖佐悦男, 坂本武郎, 後藤啓輔, 田島直也
第39回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2002, 5, 東京.
- 23) 水中運動の整形外科疾患への応用
獅子目賢一郎, 鳥取部光司
第39回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2002, 5, 東京.
- 24) Biomechanical Analysis of Posterior Interbody Fusion with 1 Harms Cage or Bone Chips with or without Posterior Fixation Device
Setti Rengachary, Jim Gatton, Hiroshi Kuroki, Vijay Goel,
Scott Holekamp, Ville Pitkanen, Nabil Ebraheim
29th annual meeting ISSLS, 2002, 5, Cleveland.

- 25) 慢性関節リウマチにおける血管新生抑制療法の効果
関本朝久, 帖佐悦男, 田島直也, 浜田浩一, 尾池雄一, 須田年生,
山村研一
第75回日本整形外科学会学術集会, 2002, 5, 岡山.
- 26) 投球時の体幹回旋についての検討
渡邊信二, 帖佐悦男, 田島直也
第75回日本整形外科学会学術集会, 2002, 5, 岡山.
- 27) 頸髄症における機能評価
喜多正孝, 有菌 剛, 阿久根広宣, 寺原幹雄, 永吉徹郎,
後藤英一, 高妻雅和, 徳久俊雄, 寺田和正, 小林邦雄
第75回日本整形外科学会学術集会, 2002, 5, 岡山.
- 28) 特発性股関節関節唇骨化の検討
帖佐悦男, 田島直也, 坂本武郎, 渡邊信二, R.Ganz
第75回日本整形外科学会学術集会, 2002, 5, 岡山.
- 29) 偽関節手術の一考案
渡辺 雄, 工藤勝司, 大田博人, 海田博志, 松本智子
第75回日本整形外科学会学術集会, 2002, 5, 岡山.
- 30) 考案したヒッププロテクター
平部久彬
第41回鹿児島整形外科懇話会, 2002, 5, 鹿児島.
- 31) 遺伝子トラップ法により得られたimportin β 遺伝子変異マウス(Ayu8108)の解析
三浦克尚, 春名享子, 関本朝久, 今泉隆志, 荒木喜美, 鈴木操,
山村研一
第35回日本発生物学会, 2002, 5, 横浜.
- 32) 可変型遺伝子トラップによるトラップラインの樹立と解析
谷脇琢也, 関本朝久, 斉藤文代, 新里晴子, 鏡良弘, 中村浩,
作村由美, 春名享子, 今泉隆志, 尾池雄一, 中瀨直巳, 荒木正健,
荒木喜美, 山村研一
第35回日本発生物学会, 2002, 5, 横浜.

- 33) 可変型遺伝子トラップ法により得られた変異マウスAyu8021とAyu8029の解析
仙波圭, 王鳳山, 李正哲, 久保亮治, 関本朝久, 鈴木操,
阿部訓也, 荒木喜美, 山村研一
第35回日本発生生物学会, 2002, 5, 横浜.
- 34) 腰椎固定による他椎間への影響—三次元有限要素法を用いて—
後藤啓輔, 田島直也, 帖佐悦男, 久保紳一郎, 鳥取部光司,
園田典生, 新井 隆
第31回日本脊椎脊髓病学会, 2002, 6, 宮崎.
- 35) 頸椎前方固定術の力学的検討—HA/PLLA cageとRay cageの比較—
鳥取部光司, 田島直也, 帖佐悦男, 松元征徳, 久保紳一郎,
敷波保夫, V.K.Goel
第31回日本脊椎脊髓病学会, 2002, 6, 宮崎.
- 36) 棘突起縦割式脊柱管拡大術・椎間孔拡大術の生体力学的検討
久保紳一郎, V.K.Goel, 田島直也, 後藤啓輔
第31回日本脊椎脊髓病学会, 2002, 6, 宮崎.
- 37) 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折における急性期造影MRIと予後の関連性
田辺龍樹, 松元征徳, 田爪陽一朗, 増田 寛, 田島直也
第31回日本脊椎脊髓病学会, 2002, 6, 宮崎.
- 38) 股関節インプラント感染に対する二期的再置換術—抗生剤含有セメントスパーサー法—
小菌敬洋, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 黒沢 治, 田島直也,
Ganz Reinhold
第103回西日本整形・災害外科学会, 2002, 6, 福岡.
- 39) 宮崎県高校野球選手に対する傷害調査
大倉俊之, 園田典生, 黒木龍二, 矢野浩明, 山本恵太郎,
帖佐悦男, 田島直也
第103回西日本整形・災害外科学会, 2002, 6, 福岡.
- 40) ガス壊疽を合併した糖尿病3症例
増田 寛, 田辺龍樹, 松元征徳, 森 治樹, 横内哲博,
藤林久輝, 田爪陽一朗
第103回西日本整形・災害外科学会, 2002, 6, 福岡.

- 41) 10才女児両側先天性股関節脱臼の一例
岡本義久
第1回オルト会, 2002, 6, 宮崎.
- 42) Clinical evaluation of cervical spine surgery in patients more than 70 years of age
Naoya Tajima
The 12th Taiwan-Japan Orthopaedic Symposium, 2002, 6, Kochi.
- 43) Idiopathic Ossification of Acetabular Labrum in Japan
Etsuo Chosa, Naoya Tajima, Takero Sakamoto, Shinji Watanabe,
Osamu Kurosawa
The 13th Korea-Japanese Combined Orthopaedic Symposium
(KJCOS 2002), 2002, 6, Kangwon Province.
- 44) 当院におけるガンマナイール手術手技の工夫
塩月康弘, 河野 立, 神蘭 豊
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 45) 股関節固定術を施行された症例に対する人工股関節置換術
柏木輝行, 田島卓也, 矢野良英
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 46) 当院における有痛性三角骨障害の検討
河原勝博, 樋口潤一, 岡田麻里
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 47) ケトプロフェン湿布剤によるアスピリン喘息の1例
浪平辰州, 坂田勝美
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 48) 同時期に発症した骨盤内膿瘍の男子中学生の2例
江夏 剛, 酒井 健, 金井純次
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 49) 当科における脊椎全摘術 (total en bloc spondylectomy : TES) の経験
勝嵩葉子, 田島直也, 久保紳一郎, 後藤啓輔, 栗原典近,
猪俣尚規, 中村嘉宏, 黒木修司
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.

- 50) 考案したヒッププロテクター (第2報)
平部久彬
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 51) 膝蓋骨骨折治療後に膝蓋骨骨髄炎および化膿性膝関節炎を発症した一例
山田正寿, 木屋博昭, 弓削孝雄, 藤本 徹, 田口 学, 西里徳重,
公文崇詞
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 52) 下腿骨慢性化膿性骨髄炎後骨欠損に対しHuckstep nailおよびCerattiteを使用し再建術を施行した1例
市原久史, 税所幸一郎, 本部浩一
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 53) 股関節インプラント感染に対する治療経験
黒沢 治, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 野崎正太郎,
田島直也
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 54) 治療に難渋した人工骨頭置換術後感染の2例
山口 徹, 有菌 剛, 高妻雅和, 徳久俊雄, 阿久根広宣,
後藤英一, 的野浩士, 井澤敏明, 小林邦雄
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 55) 当科における化膿性関節炎の経験
深野木快士, 長鶴義隆, 松岡知己, 川添浩史
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 56) 感染人工膝関節を抜去し再置換しなかった2例
公文崇詞, 木屋博昭, 弓削孝雄, 藤本 徹, 田口 学, 西里徳重,
山田正寿
第44回宮崎整形外科懇話会, 2002, 7, 宮崎.
- 57) 当科における小児上腕骨顆上骨折の治療成績
神菌 豊, 安藤 徹, 村上 弘
第20回宮崎救急医学会, 2002, 8, 宮崎.

- 58) MX-1 人工股関節におけるUHMWPE磨耗の検討
帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 黒沢 治, 田島直也, 安田舜一
第11回MX人工股関節研究会, 2002, 8, 浜松.
- 59) Analysis of a Three-Dimensional Finite Element Method Model that used Intra Discal Pressure of the Lumbar Vertebrae
Keisuke Goto, Naoya Tajima, Etsuo Chosa, Shinchiro Kubo,
Koji Totoribe
SICOT/SIROT 2002 XXII World Congress, 2002, 8, San Diego.
- 60) The Biomechanical Effects of Multilevel Posterior Foraminotomy and Foraminotomy with Double Door Laminoplasty
Shinchiro Kudo, Vijay. K. Goel, Seok-Jo Yang, Naoya Tajima
SICOT/SIROT 2002 XXII World Congress, 2002, 8, San Diego.
- 61) Ideopathic Ossification of the Acetabular Labrum
Etsuo Chosa, Naoya Tajima, Michael Leuning, Reinhold Ganz
SICOT/SIROT 2002 XXII World Congress, 2002, 8, San Diego.
- 62) 人工膝関節置換術後に発生した大腿骨骨折の治療経験
野辺達郎, 大倉俊之, 森田信二
第17回宮崎県リウマチ研究会, 2002, 9, 宮崎.
- 63) 骨原発と思われる悪性リンパ腫を発症した関節リウマチの一例
本部浩一, 小牧 亘, 税所幸一郎, 河野 浩, 吉松成博
第17回宮崎県リウマチ研究会, 2002, 9, 宮崎.
- 64) MX-1 人工股関節におけるUHMWPE磨耗の検討
黒沢 治, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 田島直也, 安田舜一,
是松信俊
第29回日本股関節学会学術集会, 2002, 9, 札幌.
- 65) 股関節の手術的脱臼法の経験
帖佐悦男, 田島直也, 坂本武郎, 渡邊信二, 黒沢 治
第29回日本股関節学会学術集会, 2002, 9, 札幌.
- 66) 大腿骨頭壊死に対するセメント充填補強術
坂本武郎, 帖佐悦男, 渡邊信二, 黒沢 治, 田島直也
第29回日本股関節学会学術集会, 2002, 9, 札幌.

- 67) コンピューター上で画像データの汎用計測やファイリング可能なソフトの使用経験
渡邊信二, 帖佐悦男, 坂本武郎, 黒沢 治, 田島直也, 是松信俊
第29回日本股関節学会学術集会, 2002, 9, 札幌.
- 68) Biomechanical Analysis for Stress Fractures of the Anterior Cortex for the Tibia-
Simulation in the Course of Advancement of a Fracture-
Norio Sonoda, Etsuo Chosa, Koji Totoribe, Naoya Tajima
The 5th Asian Federation of Sports Medicine Congress,
2002, 9, Seoul.
- 69) Hip-spine syndrome—姿勢とX線学的特徴—
帖佐悦男, 田島直也
第18回股関節研究セミナー, 2002, 9, 札幌.
- 70) 骨移植の脛骨コンポーネントの安定性に及ぼす影響
鳥取部光司, 帖佐悦男, 園田典生, 渡邊信二, 後藤啓輔, 田島直也
第29回日本臨床バイオメカニクス学会, 2002, 9, 千葉.
- 71) Flexible Spinal Instrumentation
黒木龍二, 田島直也
第17回日本整形外科学会基礎学術集会, 2002, 10, 青森.
- 72) 膝関節滑膜細胞におけるゼラチナーゼの発現調節—ヘモグロビンの影響—
田島卓也, 吉田悦男, 大村さゆり, 杉木雅彦, 丸山真杉
第53回西日本生理学会, 2002, 10, 鹿児島.
- 73) 大腿骨頸部外側骨折不安定型の治療
岡本義久
第2回オルト会, 2002, 10, 宮崎.
- 74) 変形性膝関節症に対する高位脛骨々切り術の適応と限界について
岡本義久
第2回オルト会, 2002, 10, 宮崎.
- 75) 日本スポーツマスターズ2001参加者アンケート調査
山本恵太郎, 帖佐悦男, 園田典生, 田島直也
第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2002, 11, 名古屋.

- 76) 市民マラソン選手における筋組織特異抗原 β -enolaseの検討
帖佐悦男, 園田典生, 山本恵太郎, 田島直也, 松田洋和,
高濱桂一
第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2002, 11, 名古屋.
- 77) 腱板修復術後の結節間溝の形態変化について
白地 仁, 柴田陽三, 熊野貴史, 篠田 毅, 緑川孝二, 本荘憲昭,
内藤正俊
第104回西日本整形・災害外科学会, 2002, 11, 熊本.
- 78) 腱板断裂修復術後の再断裂所見の発生頻度と、術後成績に及ぼす影響について
熊野貴史, 柴田陽三, 篠田 毅, 白地 仁, 緑川孝二, 本荘憲昭,
内藤正俊
第104回西日本整形・災害外科学会, 2002, 11, 熊本.
- 79) 頸部に瘻孔を形成した皮膚結核の1例
浪平辰州, 坂田勝美
第104回西日本整形・災害外科学会, 2002, 11, 熊本.
- 80) 考案したヒッププロテクター
平部久彬
第4回日本骨粗鬆症学会, 2002, 11, 東京.
- 81) 指の皮膚欠損に対する静脈皮弁
長井卓志, 中島英親, 寺本憲市郎, 原田香苗, 星野秀士
第29回日本マイクロサージャリー学会学術集会, 2002, 11,
宜野湾.
- 82) 培養骨芽細胞、軟骨細胞におけるアドレノメデュリンの成長因子としての作用
濱田浩朗, 田島直也, 帖佐悦男, 北村和雄
第6回日本心血管内分泌代謝学会, 2002, 11, 豊中.
- 83) Biomechanical Comparison of Two Atlantoaxial Fusion Techniques in Cadaveric
Spine – Transarticular Screw Fixation vs Screw and Rod Fixation –
Vijay Goel, Hiroshi Kuroki, Setti Rengachary, Scott Holekamp,
Ville Pitkanen, Nabil Ebraheim
13th annual meeting CSRS, 2002, 12, Miami.

- 84) 可変型遺伝子トラップによるトラップラインの樹立と解析
谷脇琢也, 関本朝久, 中村浩, 副島由美, 中務胞, 牟田真由美,
作村由美, 春名享子, 今泉隆志, 尾池雄一, 中瀧直巳, 荒木正健,
荒木喜美, 山村研一
第25回日本分子生物学会, 2002, 12, 横浜.
- 85) スポーツ選手に対する腰部椎間板ヘルニアの観血的治療—自験例のアンケート調査から—
栗原典近, 田島直也, 久保紳一郎, 黒木浩史, 後藤啓輔
第15回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2002, 12, 福岡.
- 86) 宮崎県高校野球選手に対する傷害調査 (第2報)
矢野浩明, 園田典生, 黒木龍二, 山本恵太郎, 井上 篤,
帖佐悦男, 田島直也, 大倉俊之
第15回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2002, 12, 福岡.
- 87) 脳性麻痺患者における下肢手術評価—脳性麻痺手術のための臨床評価法を用いて
柳園賜一郎, 船元太郎, 山口和正
第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.
- 88) 側弯症検診におけるモアレ判定法の実際
黒木浩史, 栗原典近, 後藤啓輔, 久保紳一郎, 田島直也
第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.
- 89) Dupuytren拘縮に対する手術症例の検討
坂田勝美, 浪平辰州
第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.
- 90) 施設内Bone Bank (自家骨保存) の試みについて
柏木輝行, 中村嘉宏, 田島卓也, 矢野良英
第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.
- 91) 四肢に多発したSchwannomatosisの症例報告
黒木修司, 帖佐悦男, 渡邊信二, 坂本武郎, 黒沢 治, 内田秀穂,
前田和徳, 桐谷 力, 田島直也
第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.
- 92) 四肢外傷患者に対して血管柄付遊離腹直筋皮弁により一次閉鎖した3例
吉本 浩, 横内哲博, 田邊龍樹, 松元征徳, 森 治樹, 小園敬洋
第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.

93) 著明な膝関節の破壊を呈したRAに対するTKA

小牧 亘, 本部浩一, 税所幸一郎

第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.

94) 当科での高齢者の骨折治療 (大腿骨頸部骨折を除く長管骨を主に)

公文崇詞, 木屋博昭, 弓削孝雄, 藤本 徹, 西里徳重, 大宮博史,
山田正寿

第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.

95) 当科における70歳以上の高齢者の大腿骨頸部骨折以外の骨折の治療経験

松岡知己, 長鶴義隆, 川添浩史, 深野木快士

第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.

96) 高齢者にみられた鎖骨重複骨折の一例

獅子目賢一郎, 黒田 宏, 鳥取部光司

第45回宮崎整形外科懇話会, 2002, 12, 宮崎.

◆ 講 演

1) スポーツと腰痛

田島直也

沖縄整形外科医会学術講演会, 2002, 1, 那覇.

2) 頰椎疾患に対するTransuncal approachによるwithout fusion法 Transuncal approach for degenerative cervical spine disease

久保紳一郎

第2回Advanced tequnologies in spinal treatment (ATST),
2002, 2, 東京.

3) 腰痛の臨床

田島直也

第91回北九州臨床整形外科医会, 2002, 2, 北九州.

4) 腰椎後側方固定術—特にFEMについて—

田島直也

第162回北陸整形外科集談会, 2002, 3, 松岡.

5) スポーツ選手における腰椎椎間板ヘルニアの治療

田島直也

第75回日本整形外科学会学術集会, 2002, 5, 岡山.

6) 腰下肢痛の鑑別診断

田島直也

第36回日本ペインクリニック学会, 2002, 7, 宮崎.

7) 私と腰椎後側方固定術

田島直也

第28回長崎脊椎外科研究会, 2002, 9, 長崎.

8) スポーツ選手における腰椎椎間板ヘルニアの治療

田島直也

第7回二豊整形外科フォーラム, 2002, 10, 中津.

9) 小児の先股脱と超音波検査

岡本義久

宮崎市郡東諸県郡乳幼児健康診査検討会, 2002, 10, 宮崎.

10) スポーツメディカルチェック -異常と許容範囲- 整形外科の立場から

田島直也

第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2002, 11, 名古屋.

11) 骨粗鬆症-最近の話題から-

田島直也

都城市北諸県郡医師会外科医会, 2002, 11, 都城.

編集後記

最近、ゆっくりと物事を考えなくなっているような気がします。事実、思索にふけるなんてことが全くなくなっています。これはまずいんじゃないかと思うこの頃であります。開業して7年目になりますが、ここまであつという間に過ぎたように思います。

毎日の診療、雑事に振り回され一日の何と短い事か。一年の何と早い事か。この6年半、なりふり構わず馬車馬のように突っ走って来ました。

この頃は、休みたい休みたいと思いながら、週末の来るのを指折り数えて待っている状態であります。そろそろライフスタイルを見直す時期に来ているのかもしれませんが。

元々、欲張りで、せっかちで、完璧主義者なので、あれもこれも何でもやりたいと思ってしまうけれども、現実にはそんなにいろいろな事を同時にはできないわけで、そのギャップに焦りとストレスを感じています。

最近、「スローライフ」なる言葉が出てきていますが、まさに自分への啓示のような言葉です。ゆっくり物事について思索を廻らす。そんな生活ができるかどうか判りませんが、乾いた心に水をやるように充電したいものです。

今回、同門会誌に投稿していただいた先生方、「夫を語る」で寄稿していただいた松本英裕先生の奥様に厚くお礼申し上げます。

最近、同門会会員から同門会誌への寄稿が少なく、編集に苦慮しております。

私の企画力、力量不足もありますが、本会誌は何といても皆様からの投稿に支えられておりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

2004年3月吉日

編集長 福田 健 二

宮崎大学医学部整形外科

同 門 会 誌

発 行 日 平成16年3月

発 行 者 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

編集責任者 福 田 健 二

印 刷 所 身体障害者通所授産施設やじろべえ